



コラボフロー

ColdFusion 2021 バージョンアップガイド

対象バージョン: ColdFusion 2018、2021
およびコラボフロー 2.18.0 以降

株式会社コラボスタイル

商標について

記載されている商品名等は各社の商標または登録商標です。また、当社製品には他社の著作物がふくまれている場合があります、この仕様については予告なく変更される場合がございます。

詳細については、弊社の Web サイトを参照してください。

<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/205716729>

著作について

本書のいかなる部分も、明示的な事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写、記録それ以外を含むいかなる手段においても、購入者の個人目的以外に複製、転写、転用する事はできません。

目次

1. 本書の目的	6
2. はじめに	6
2.1. 対象サーバー	6
2.2. バージョンアップ作業を行う際のユーザー アカウント	6
2.3. バージョンアップに必要な情報	6
2.4. ColdFusion 2021 のライセンス取得について	7
2.5. ColdFusion の設定資料を用意する	7
資料1: 設定要約の PDF ファイル	7
資料2: JVM パラメーター	7
2.6. 作業時間の目安	8
2.7. 注意事項	8
3. バージョンアップ前作業	9
3.1. 信頼済みサイトの追加	9
3.2. ColdFusion 2018 のサービスを停止	10
3.3. ColdFusion 設定ファイルのバックアップ	11
3.4. Web サーバーコネクタの削除	12
4. ColdFusion 2021 のインストール	13
4.1. インストーラの起動	13
4.2. インストール前のチェック	14
4.3. はじめに	14
4.4. エンドユーザー使用許諾契約	15
4.5. インストールタイプ	15
4.6. インストーラ設定	16
4.7. デプロイメントタイプを選択	16
4.8. ColdFusion サーバプロファイルを選択	17
4.9. サブコンポーネントのインストール	17
4.10. サーブレットの有効化または無効化	18
4.11. インストールディレクトリの選択	18
4.12. 内蔵 Web サーバーポート番号	19
4.13. Performance Monitoring Toolset	19
4.14. 管理者の資格情報	20
4.15. サーバーアップデート	21
4.16. プリインストールの要約	21
4.17. インストール進行	22
4.18. インストール完了	22
5. 設定の移行	23

5.1. ログイン	23
5.2. サーバーの設定	24
5.3. 移行ウィザード開始の確認	24
5.4. エクスポート設定	25
5.5. インポート設定	25
5.6. 移行ウィザード完了	26
5.7. 追加の手動設定	27
5.8. カスタムタグの移行確認	32
6. ColdFusion 脆弱性対策の確認	33
7. ColdFusion 2021 のアップデート	34
7.1. パッケージマネージャー画面の表示	34
7.2. ColdFusion のアップデート	35
7.3. ColdFusion のアップデートの完了確認	37
8. ColdFusion 2021 のアップデート(オフライン)	38
9. ColdFusion と Web サーバーの接続設定	39
9.1. Web サーバー設定ツールの起動	39
9.2. Web サーバー設定の追加	40
9.3. Web サーバー設定の終了	41
9.4. コラボフローへのアクセス確認	41
10. ライセンスのアクティベーション	42
10.1. シリアル番号入力	42
10.2. アクティベーション内容の確認	42
11. ライセンスのアクティベーション(オフライン)	43
11.1. シリアル番号入力	43
11.2. アクティベーションリクエスト作成	43
11.3. オフラインアクティベーション実行	44
11.4. ColdFusion 再起動	44
11.5. アクティベーション内容の確認	45
12. ColdFusion 2018 の削除	46
12.1. ColdFusion 2021 サービスの停止	46
12.2. ColdFusion 2018 一時フォルダの削除	47
12.3. プログラムのアンインストール	47
12.4. ColdFusion 2018 のアンインストール	48
12.5. アンインストール完了の確認	50
12.6. ColdFusion 2018 フォルダの削除	51
12.7. ColdFusion 2021 サービスの起動	51
12.8. コラボフローへのアクセス確認	52

13. トラブルシューティング	53
13.1. プロキシサーバーを経由する必要がある場合	53
13.2. ColdFusion 2021 インストール後からコラボフローが表示されない	53

1. 本書の目的

本書はコラボフローが稼働している環境で「ColdFusion 2018」から「ColdFusion 2021」にバージョンアップを行う手順について説明します。

2. はじめに

本書に記載されている環境は以下の通りです。

- ・ OS: Windows Server 2019 日本語版
 - ・ Web サーバー: IIS 10
 - ・ ColdFusion: ColdFusion 2021 日本語版
- インストール先は「C:\ColdFusion2021」を前提として説明します。変更されている場合は読み替えてください。

2.1. 対象サーバー

対象サーバーは、コラボフロー 2.18.0 以降がインストールされている Web サーバーです。

2.2. バージョンアップ作業を行う際のユーザー アカウント

対象サーバーの管理者権限を有するユーザーアカウント (Administrator ユーザーなど) が必要です。

2.3. バージョンアップに必要な情報

ColdFusion のバージョンアップには以下のファイルと情報が必要です。

項目	説明
ColdFusion バージョンアップガイド	本書です。
ColdFusion_2021_GUI_WWEJ_win64.exe	ColdFusion 2021 のインストールファイルです。
ColdFusion 2021 ライセンス情報	ColdFusion 2021 のシリアル番号が必要です。 詳細は「ColdFusion 2021 ライセンス取得について」を参照ください。
現行の設定資料	ColdFusion 2018 の設定要約と JVM パラメーター 詳細は「設定資料を用意」を参照ください。
インターネット接続環境	ColdFusion のセキュリティ更新時に必要です。

2.4. ColdFusion 2021 のライセンス取得について

ColdFusion 2018 を購入されている場合は、ColdFusion 2021 ライセンスの取得権を有している場合があります。
Adobe 社が提供している以下のサイトにログインしてご確認ください。

<https://licensing.adobe.com/>

ログイン ID はコラボフローご購入時に提出いただいた「コラボフローお客様情報登録シート」に記載された担当者のメールアドレスとなります。

一度もログインした事が無い場合はログイン画面右下の「パスワードを忘れた場合」リンクからパスワードを設定ください。

ライセンスが取得できない・担当が変わったなどライセンス状況が、ご不明な場合は購入先までお問合せください。

2.5. ColdFusion の設定資料を用意する

ColdFusion 2018 をセットアップした時の設定シートやパラメーター表等の資料があればご準備ください。
これらの資料は手動で再設定する項目やトラブル時に参照します。

設定資料は、以下の手順で取得可能です。

資料1: 設定要約の PDF ファイル

- ① 以下のアドレスを開いて、ColdFusion の管理画面にログインします。
<http://127.0.0.1:8500/CFIDE/administrator/>
- ② サーバーの設定 > 設定要約を表示します。
- ③ 「PDF として保存」ボタンをクリックして、ダウンロードされたファイルを保存します。

資料2: JVM パラメーター

- ① サーバーの設定 > Java と JVM を表示します。
- ② 以下の 3 項目についてメモ帳などにコピーし、保存します。
 - 最小 JVM ヒープサイズ
 - 最大 JVM ヒープサイズ
 - JVM 引数 (とても長いので注意)

2.6. 作業時間の目安

各作業の大まかな所要時間を掲載します。
ご利用状況や環境により前後しますので目安として参照ください。

作業	所要時間
バージョンアップ前作業	20 分
ColdFusion 2021 のインストール	15 分
ColdFusion の設定移行	20 分
ColdFusion 2021 アップデート	10 分
ColdFusion と Web サーバーの接続設定	10 分
ColdFusion 2018 の削除	15 分
合計	90 分

2.7. 注意事項

コラボフロー 2.18.0 かそれ以降のバージョンが必要です。

コラボフロー 2.18.0 以前では ColdFusion 2021 に対応していませんので、先にコラボフローのバージョンアップを実施ください。手順については「コラボフロー アップデートガイド」を参照ください。

バージョンアップ作業中はコラボフローを長時間利用できない状態となります。
必要に応じて社内告知を検討ください。

3. バージョンアップ前作業

信頼済みサイトの追加作業、ColdFusion のバージョンアップで競合が起きないようにサービスを変更します。
また、ColdFusion の設定ファイルをバックアップします。

3.1. 信頼済みサイトの追加

Internet Explorer を利用してバージョンアップ作業を行う場合は、移行ウィザードの URL を信頼済みサイトへ追加します。

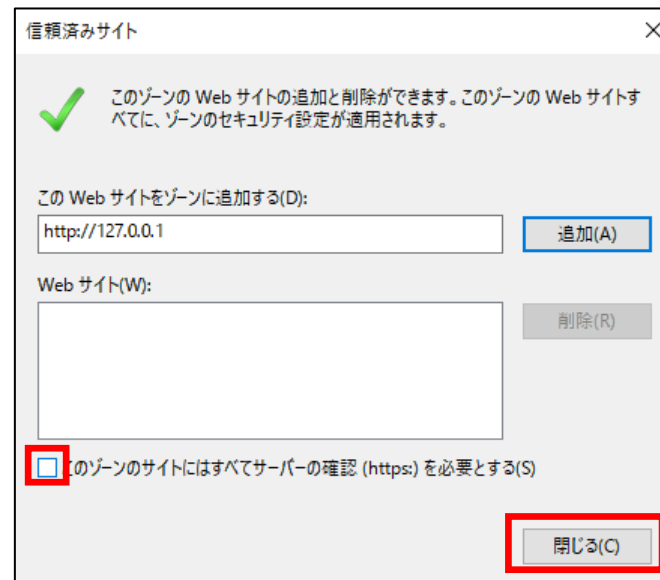
歯車アイコンから「インターネットオプション」を開き、「セキュリティ」タブを表示します。

セキュリティ設定を変更するゾーンとして「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」ボタンをクリックします。



サーバーの確認(https:)を必要とする設定のチェックを外します。

「追加」ボタンをクリックして「http://127.0.0.1」を信頼済みサイトに追加し、設定画面を閉じます。



サービスのプロパティを変更する

「ColdFusion 2018 Application Server」を右クリック>プロパティを選択します。



- ① 「停止」ボタンをクリックし、サービス状態が停止になるまで待ちます。
- ② スタートアップの種類を「手動」に変更します。
- ③ 「OK」ボタンをクリックします。

3.3. ColdFusion 設定ファイルのバックアップ

ColdFusion の設定ファイルをバックアップします。

- ① 任意にバックアップ取得用フォルダを作成します。
作成例:【 D:\Backup\ColdFusion2018\20220226 】

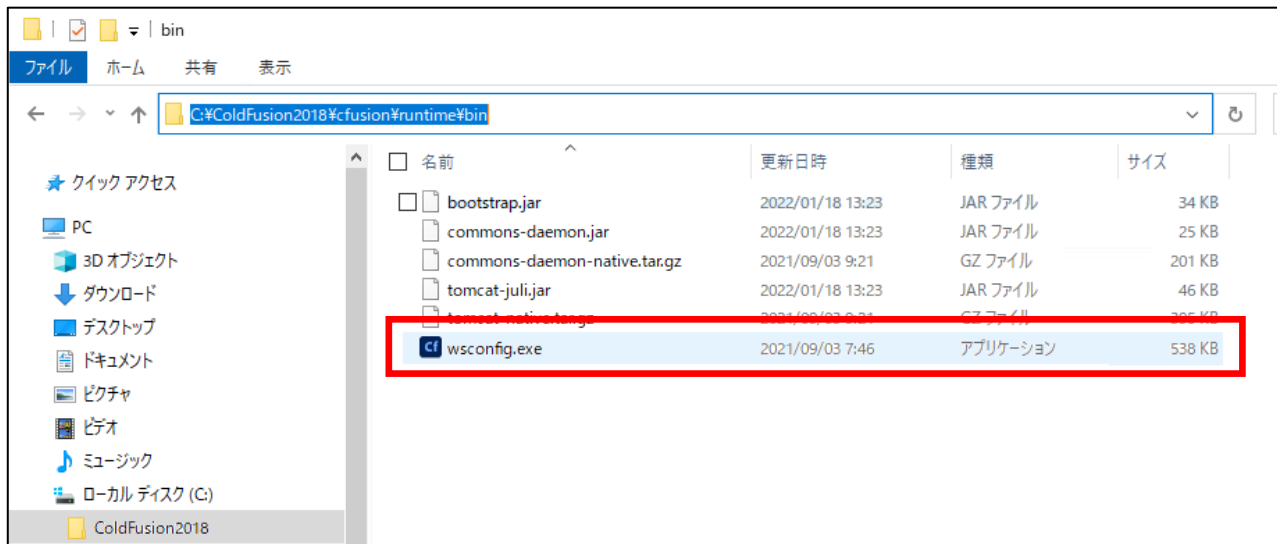
※「20220226」には、作業日を指定し、いつバックアップを行ったかをわかるようにします。
2022 年 2 月 26 日に実施した場合 ⇒ 20220226

- ② 以下のフォルダとファイルを作成したフォルダにコピーします。
C:\ColdFusion2018\cfusion\lib フォルダ
C:\ColdFusion2018\cfusion\bin\jvm.config ファイル

3.4. Web サーバーコネクタの削除

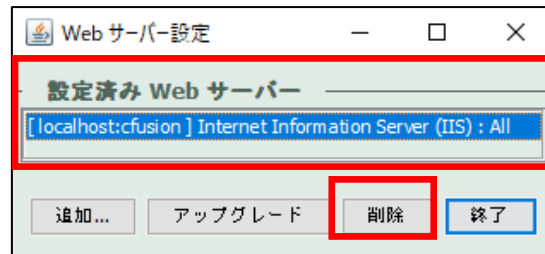
Web サーバー設定の起動

C:\ColdFusion2018\cfusion\runtime\bin フォルダを開き「wsconfig.exe」をダブルクリックします。

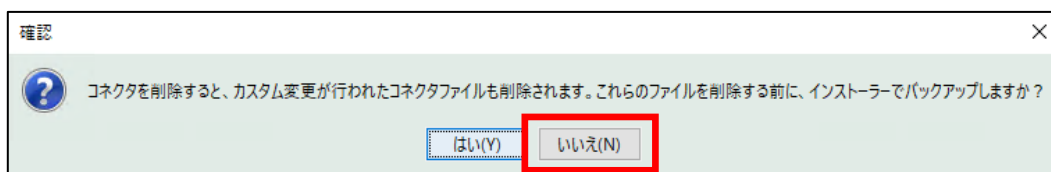


コネクタの削除

「Internet Information Server (IIS): All」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。



「いいえ」ボタンをクリックします。(バックアップ不要です)



他に設定がある場合は同様に削除します。

以下のように全ての設定が空になれば、「終了」ボタンをクリックして閉じます。



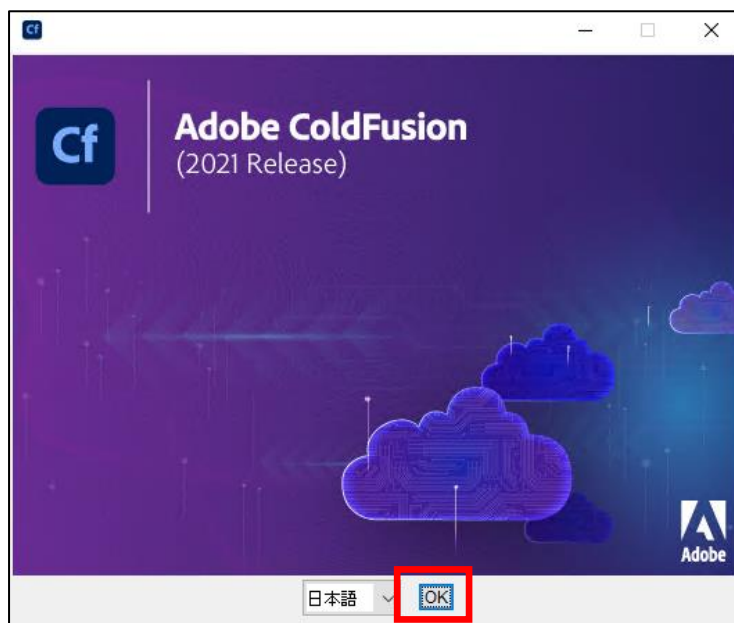
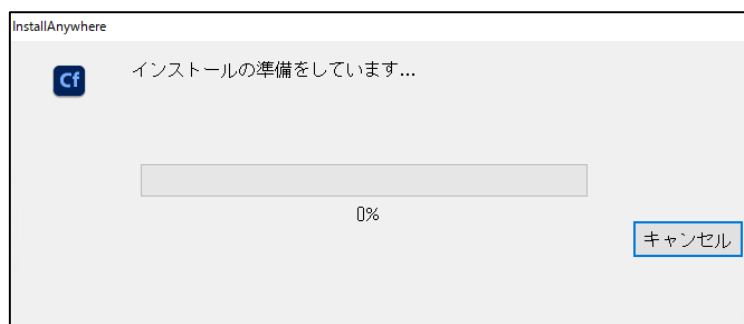
4. ColdFusion 2021 のインストール

ColdFusion のバージョンアップ手順をご説明します。

4.1. インストーラの起動

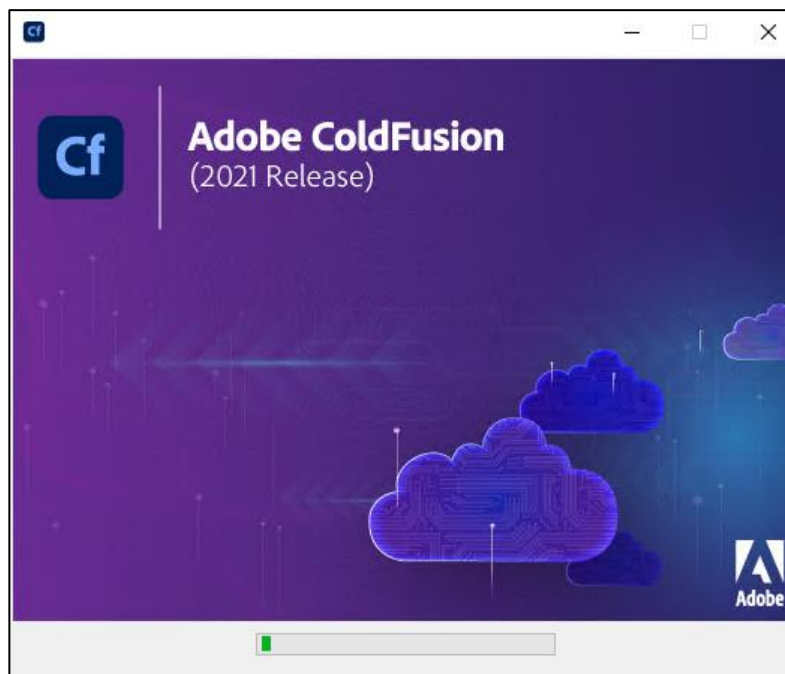
ColdFusion 2021 のインストーラ、「ColdFusion_2021_GUI_WWEJ_win64.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動します。

インストールの準備画面表示後、言語選択の画面が表示されますので「日本語」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



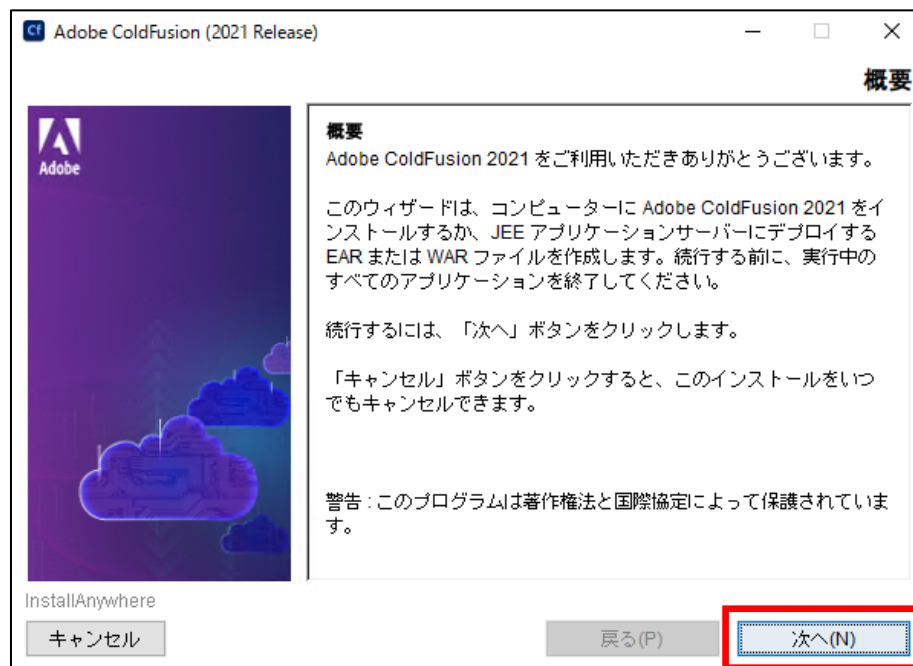
4.2. インストール前のチェック

インストール前のチェックが実行されます。



4.3. はじめに

インストールの確認画面が表示されるので、内容を確認して「次へ」ボタンをクリックします。



4.4. エンドユーザー使用許諾契約

ライセンス契約の同意画面が表示されたら内容を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意する」にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。



4.5. インストールタイプ

※プロキシ環境、または、オフライン環境である場合は、この手順をスキップしてください。

ColdFusion 2021 のシリアル番号を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。



4.6. インストーラ設定

「サーバーの設定」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



4.7. デプロイメントタイプを選択

「本番」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



4.8. ColdFusion サーバープロファイルを選択

「本番プロファイル」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



4.9. サブコンポーネントのインストール

すべてチェックを外して、「次へ」ボタンをクリックします。



4.10. サープレットの有効化または無効化

すべてチェックを外して、「次へ」ボタンをクリックします。



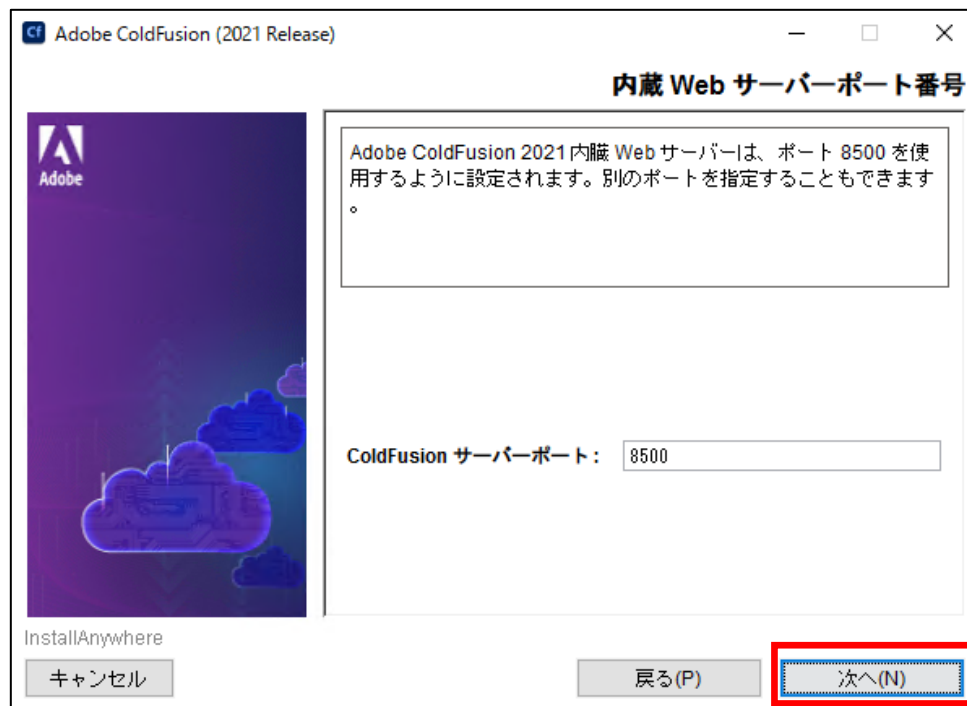
4.11. インストールディレクトリの選択

「次へ」ボタンをクリックします。特別な事情でデフォルトのディレクトリ以外の場所にインストールしないといけない場合を除き、デフォルトのディレクトリにインストールされることを推奨します。



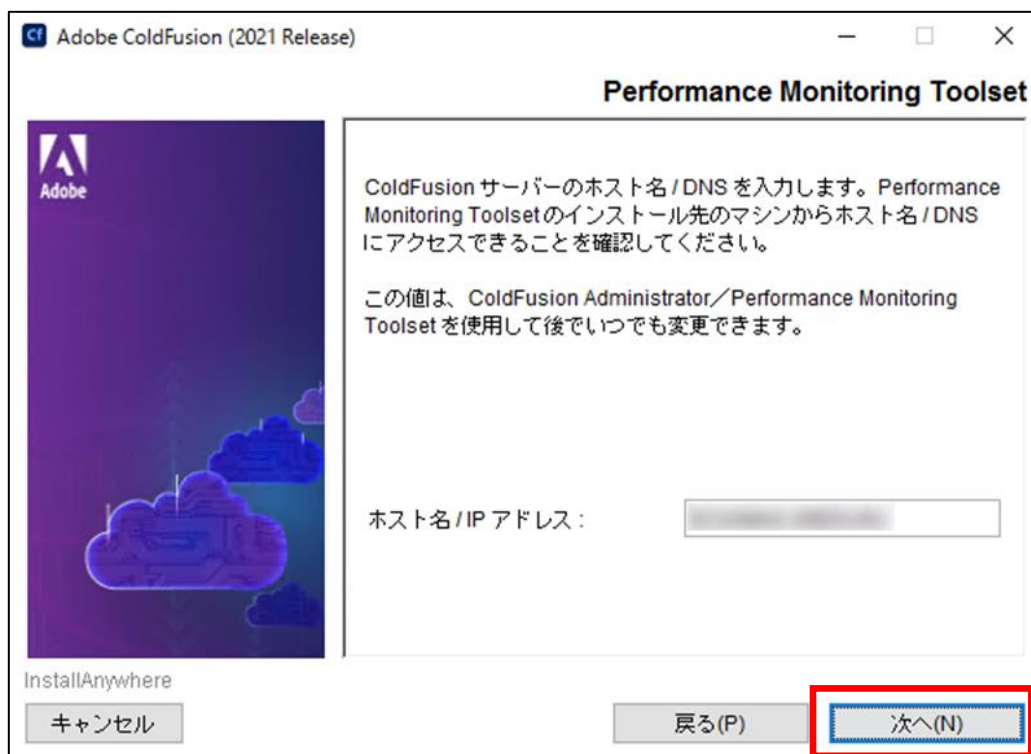
4.12. 内蔵 Web サーバーポート番号

「次へ」ボタンをクリックします。※監視システム等で既に 8500 番ポートが占有されている場合は別の番号に変更ください。



4.13. Performance Monitoring Toolset

「次へ」ボタンをクリックします。



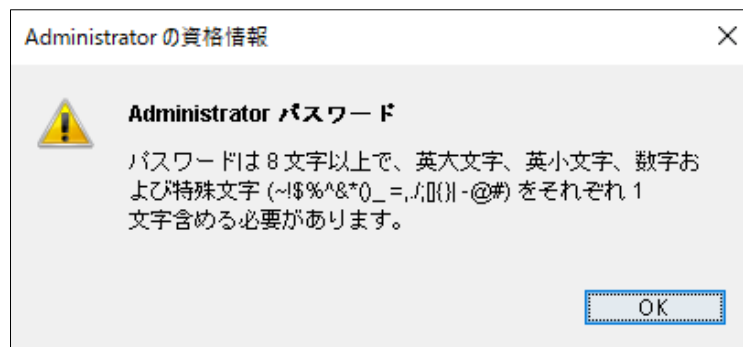
4.14. 管理者の資格情報

ColdFusion 管理画面にログインする際のユーザー名とパスワードを設定します。
パスワード(確認用含む)を入力後、「次へ」ボタンをクリックします。



【補足】

入力したパスワードの強さが足りない場合、以下のメッセージが表示されます。



パスワードは以下の条件を全て満たす文字列を指定する必要があります。

- ・パスワードは 8 文字以上
- ・アルファベット大文字(A～Z)を1つ以上含む
- ・アルファベット小文字(a～z)を1つ以上含む
- ・数字(0～9)を1つ以上含む
- ・特殊文字(~!\$%^&*()_ =,./[]{}| - @#)を1つ以上含む

4.15. サーバーアップデート

「サーバーアップデートを自動的に確認」にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。



4.16. プリインストールの要約

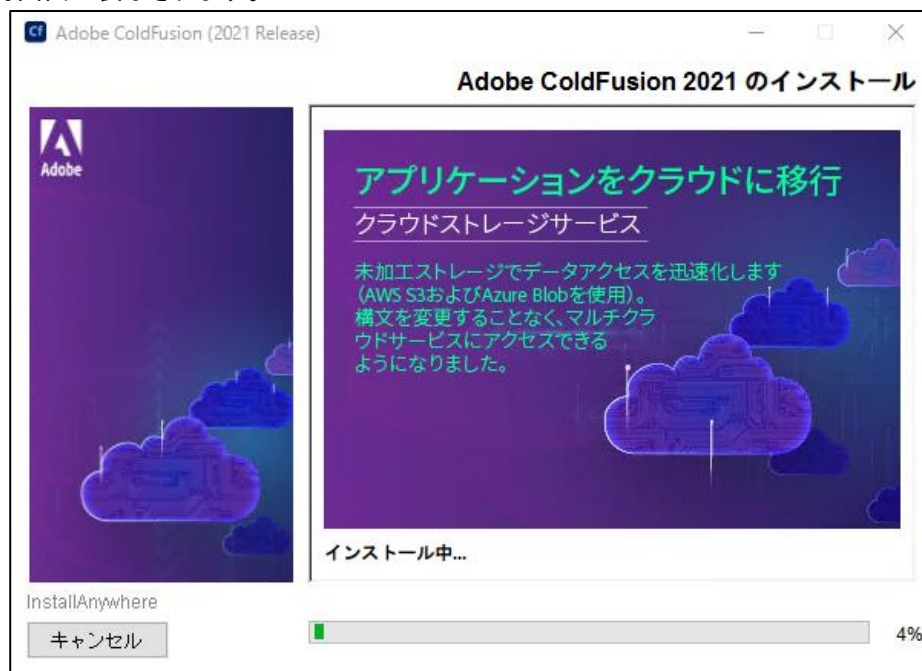
内容を確認の上、「インストール」ボタンをクリックします。

設定内容に誤りがある場合、「戻る」または「キャンセル」ボタンをクリックし、インストールを再試行してください。



4.17. インストール進行

インストール進行画面が表示されます。



4.18. インストール完了

「デフォルトブラウザで設定ウィザードを起動」にチェックを入れて、「完了」ボタンをクリックします。



5. 設定の移行

ColdFusion のインストール完了後、「完了」ボタンをクリックすると、ColdFusion の基本的な設定を行う移行ウィザードが表示されます。

移行ウィザードは、インストール完了画面内の「デフォルトブラウザで設定ウィザードを起動」にチェックが入っている場合のみ表示されます。

チェックを入れなかった場合は、手動でブラウザを起動し、以下のアドレスにアクセスします。

<http://127.0.0.1:8500/CFIDE/administrator/>

5.1. ログイン

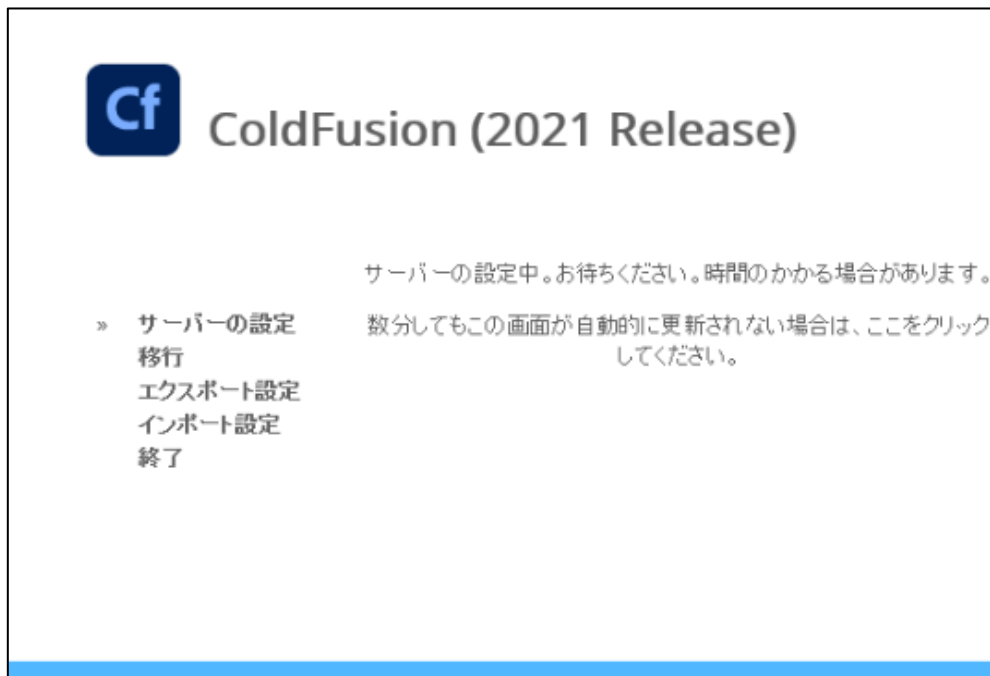
ColdFusion のインストール時に指定した「admin」ユーザーのパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。



The image shows the ColdFusion (2021 Release) migration wizard login screen. At the top is the ColdFusion logo and the text 'ColdFusion (2021 Release)'. Below this is the title '設定の移行ウィザード' (Migration Wizard). The main text explains that the installation was successful and this wizard is for the remaining server setup steps, including migrating settings from previous versions. It then instructs the user to enter the ColdFusion Administrator password for security. At the bottom, there is a label 'パスワード' (Password) next to a text input field, and a 'ログイン' (Login) button to its right. A red rectangular box highlights the password input field and the login button.

5.2. サーバーの設定

移行ウィザードにログインすると、サーバーの設定が自動で行われます。



※ページが更新されない場合は、メッセージ内の「ここをクリック」をクリックしてください。

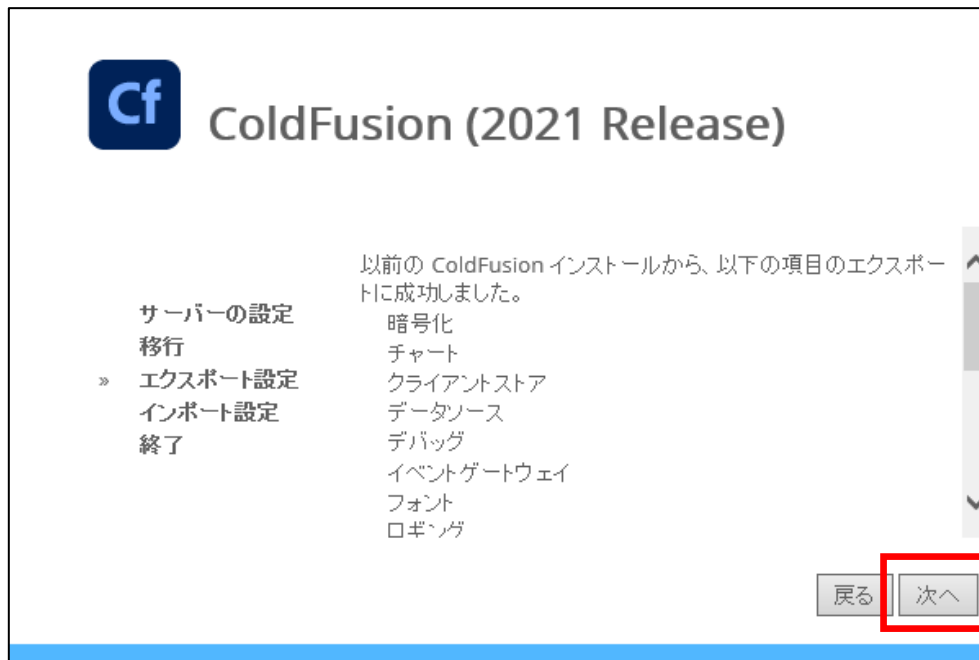
5.3. 移行ウィザード開始の確認

「次へ」ボタンをクリックします。



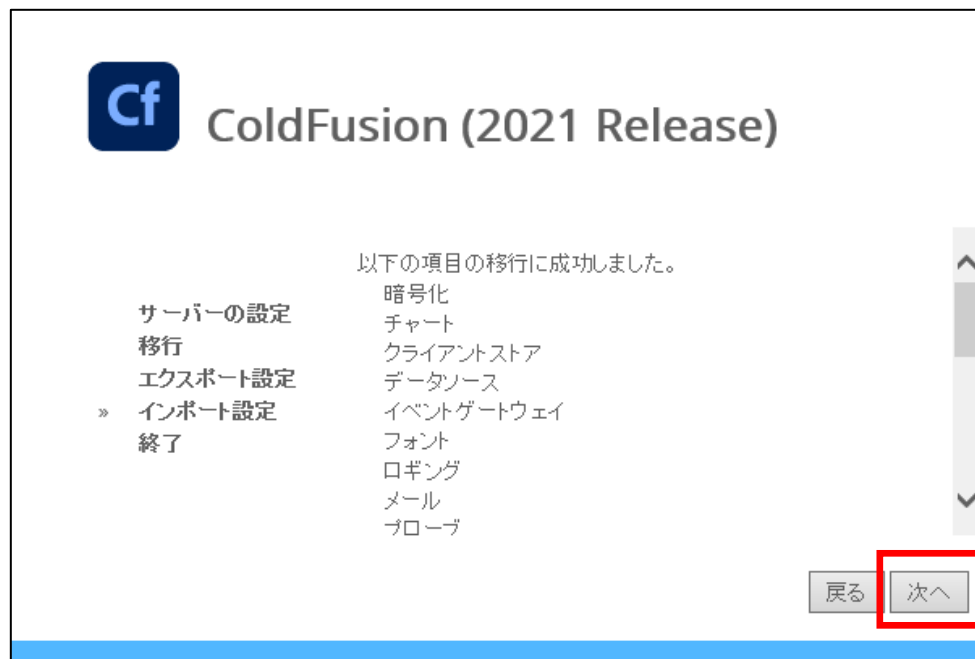
5.4. エクスポート設定

「次へ」ボタンをクリックします。



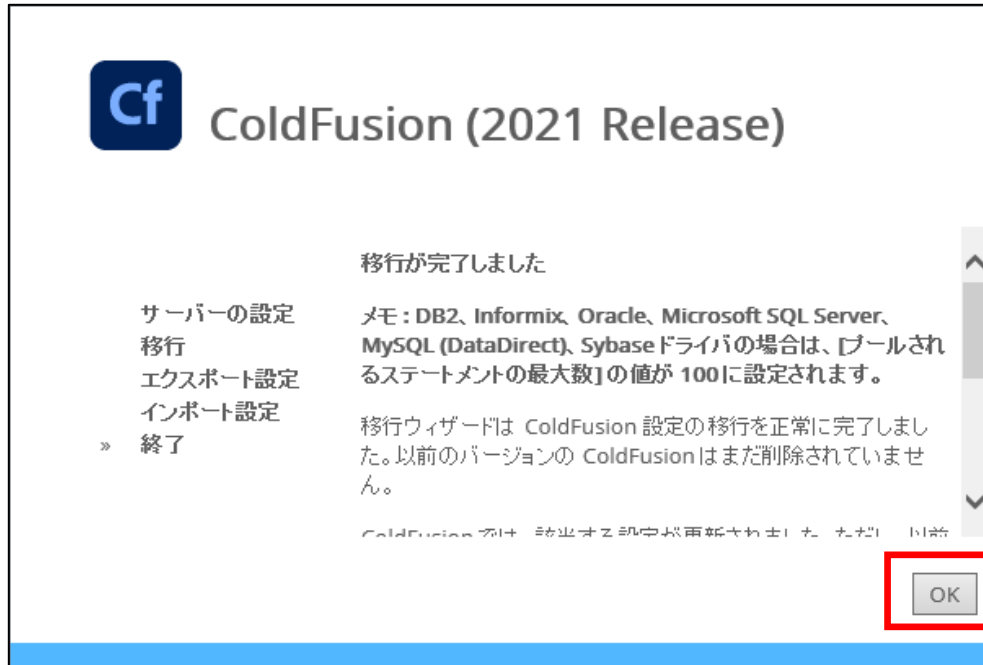
5.5. インポート設定

「次へ」ボタンをクリックします。



5.6. 移行ウィザード完了

設定の移行が完了しました。「OK」ボタンをクリックします。



ColdFusion 管理画面が表示されます。



5.7. 追加の手動設定

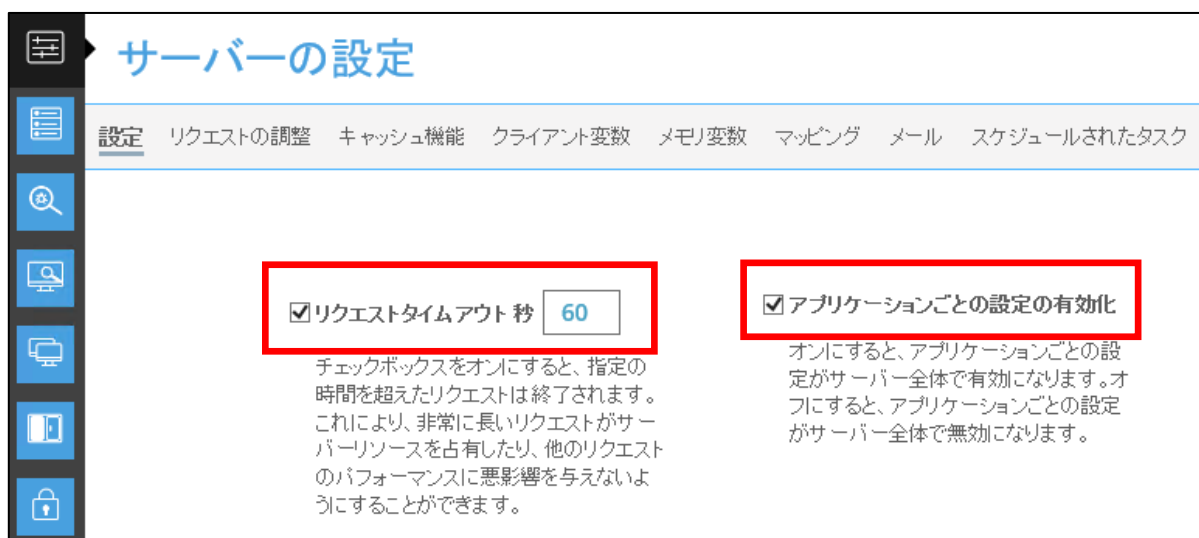
以下の項目について設定を行います。

サーバーの設定＞設定

「サーバーの設定」画面を表示し、「設定」をクリックします。

「リクエストタイムアウト」にチェックを入れ、「60」を入力します。
※コラボフローの設定値は 60 秒ですが、必要に応じて変更できます。

アプリケーションごとの設定の有効化にチェックを入れます。



画面を下にスクロールし、「送信データの最大サイズ」に「20」を入力します。
※ファイルのアップロードに関係します。詳細は下記コラボフローサポートサイトの記事を参照ください。

<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/204727075>

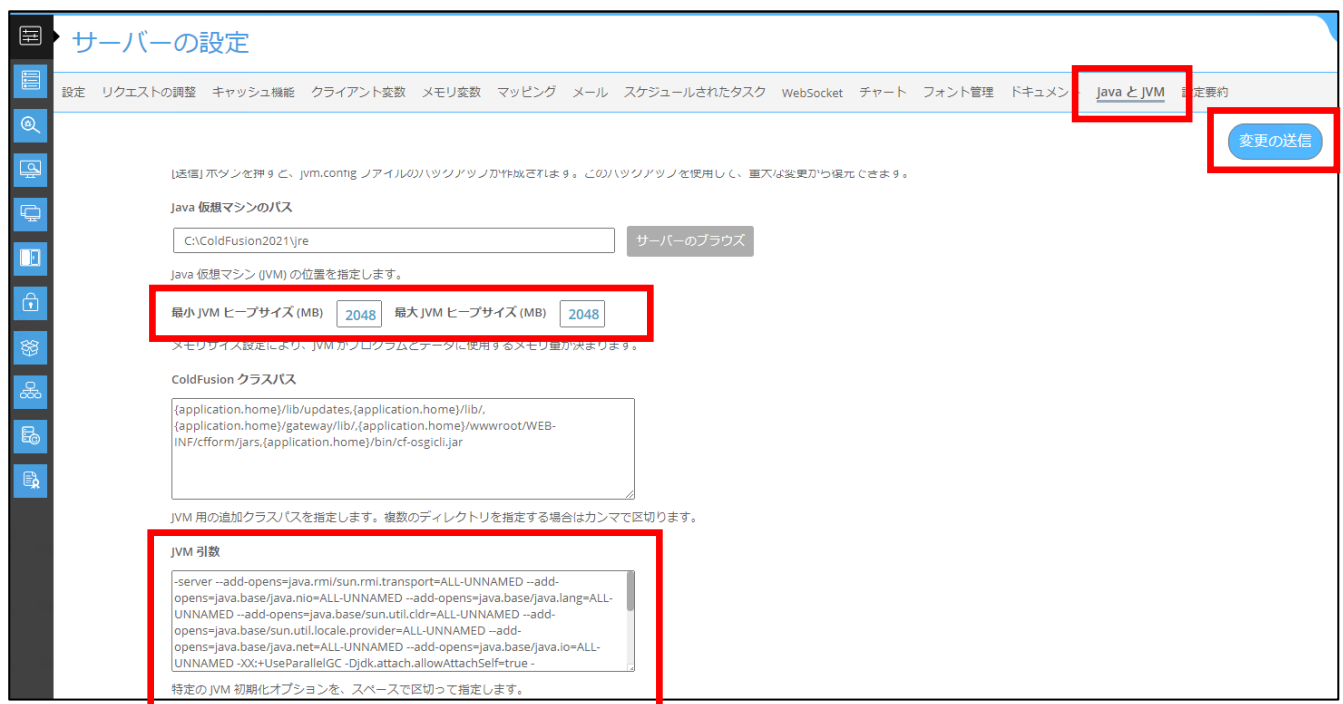
「変更の送信」をクリックします。



サーバーの設定 > Java と JVM

本書「はじめに」で用意した「JVM パラメーター」の値を再設定します。

- ① 「サーバーの設定」画面を表示し、「Java と JVM」をクリックします。
- ② 「最小 JVM ヒープサイズ」に最小 JVM ヒープサイズ値を入力します。
- ③ 「最大 JVM ヒープサイズ」に最大 JVM ヒープサイズ値を入力します。
- ④ 「JVM 引数」の MaxMetaspaceSize に、値を設定します。
-XX:MaxMetaspaceSize=256m
※MaxMetaspaceSize の詳細は、下記コラボフローサポートサイトの記事を参照ください。
<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/360000697755>
- ⑤ 「JVM 引数」にロケールパラメーターが含まれていない場合は、以下の指定を追加します。
-Duser.language=ja
- ⑥ 「変更の送信」をクリックします。



サーバーの設定

設定 リクエストの調整 キャッシュ機能 クライアント変数 メモリ変数 マッピング メール スケジュールされたタスク WebSocket チャート フォント管理 ドキュメン **Java と JVM** 設定要約

[送信] ボタンを押すと、jvm.config ファイルのハッシュが更新されます。このハッシュを使用し、重大な変更から復元できます。

Java 仮想マシンのパス

C:\ColdFusion2021\jre サーバーのブラウズ

Java 仮想マシン (JVM) の位置を指定します。

最小 JVM ヒープサイズ (MB) 最大 JVM ヒープサイズ (MB)

メモリアイス設定により、JVM がプログラムとデータに使用するメモリ量が異なります。

ColdFusion クラスパス

{application.home}/lib/updates,{application.home}/lib/,
{application.home}/gateway/lib/,{application.home}/wwwroot/WEB-INF/cfform/jars,{application.home}/bin/cf-osgi.jar

JVM 用の追加クラスパスを指定します。複数のディレクトリを指定する場合はカンマで区切ります。

JVM 引数

-server --add-opens=java.rmi/sun.rmi.transport=ALL-UNNAMED --add-opens=java.base/java.nio=ALL-UNNAMED --add-opens=java.base/java.lang=ALL-UNNAMED --add-opens=java.base/sun.util.cldr=ALL-UNNAMED --add-opens=java.base/sun.util.locale.provider=ALL-UNNAMED --add-opens=java.base/java.net=ALL-UNNAMED --add-opens=java.base/java.io=ALL-UNNAMED -XX:+UseParallelGC -Djdk.attach.allowAttachSelf=true -

特定の JVM 初期化オプションを、スペースで区切って指定します。

変更の送信

セキュリティ>セキュアプロファイル

「セキュリティ」画面を表示し、「セキュアプロファイル」をクリックします。

「セキュアプロファイルを有効にする」のチェックを外し、「変更の送信」をクリックします。



セキュリティ

Administrator RDS サンドボックスセキュリティ ユーザーマネージャ 使用できる IP アドレス **セキュアプロファイル** DP 構成 SP 構成

☐ セキュアプロファイルを有効にする

セキュアプロファイル設定は 1 つの推奨事項にすぎません。要件に応じて、サーバーをさらに詳細に設定する必要があります。この影響を受ける設定を次の表

セキュアプロファイル設定の要約

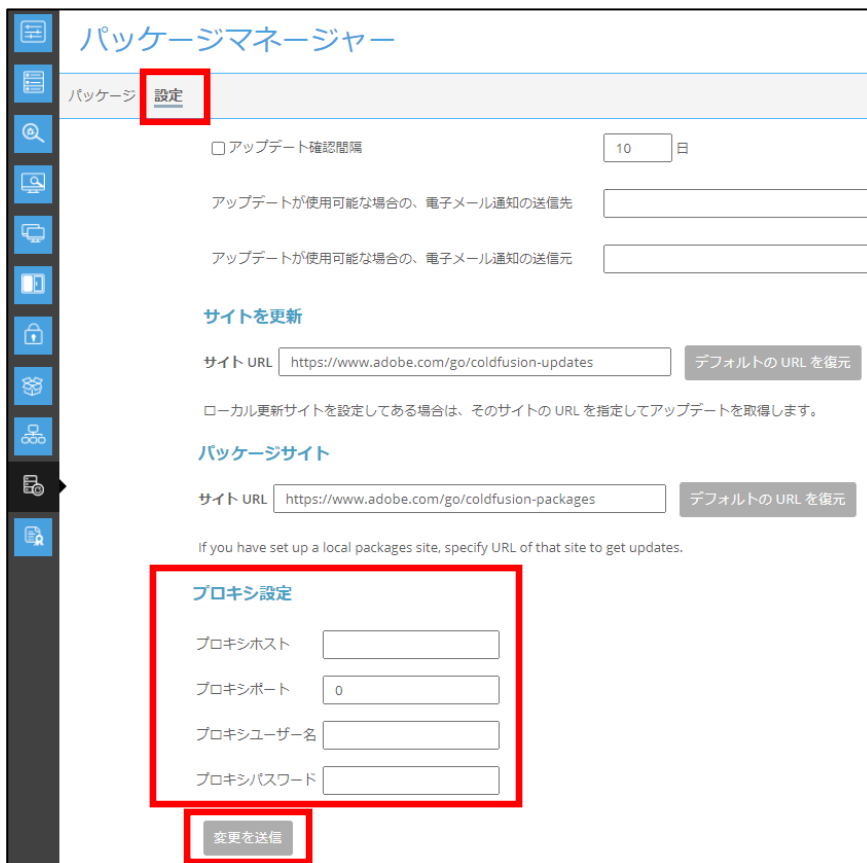
設定名	現在の値	セキュアのデフォルト値

パッケージマネージャー>設定

Web プロキシサーバーがある環境下でサーバーを運用している場合は

「パッケージマネージャー」画面を表示し、「設定」をクリックします。

「プロキシ設定」にプロキシ情報を入力し、「変更を送信」ボタンをクリックします。



パッケージマネージャー

パッケージ **設定**

☐ アップデート確認間隔 10 日

アップデートが使用可能な場合の、電子メール通知の送信先

アップデートが使用可能な場合の、電子メール通知の送信元

サイトを更新

サイト URL デフォルトの URL を復元

ローカル更新サイトを設定してある場合は、そのサイトの URL を指定してアップデートを取得します。

パッケージサイト

サイト URL デフォルトの URL を復元

If you have set up a local packages site, specify URL of that site to get updates.

プロキシ設定

プロキシホスト

プロキシポート

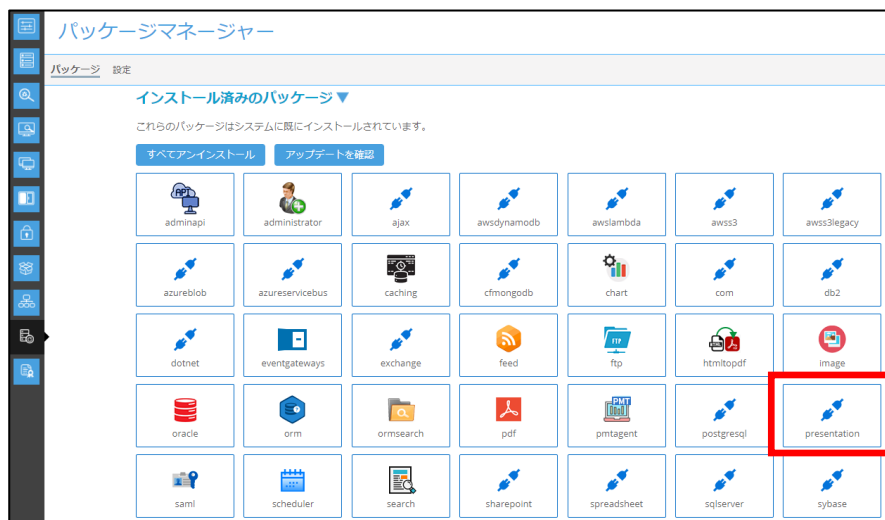
プロキシユーザー名

プロキシパスワード

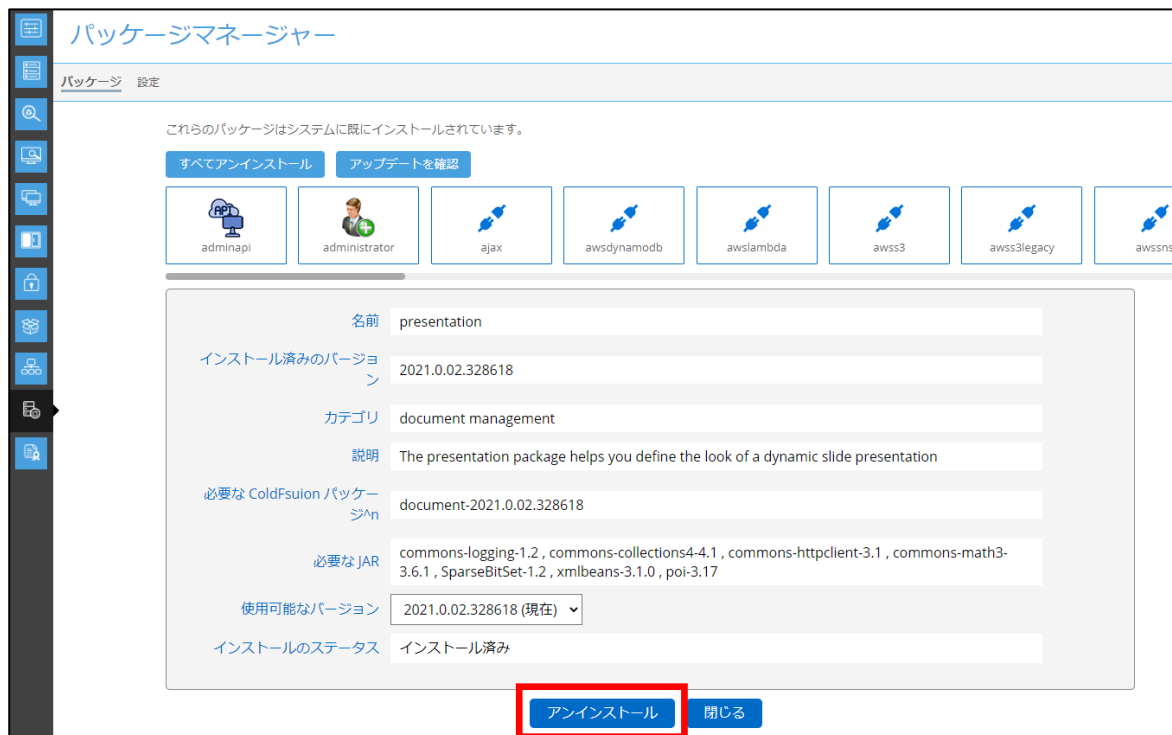
変更を送信

パッケージマネージャー>パッケージ

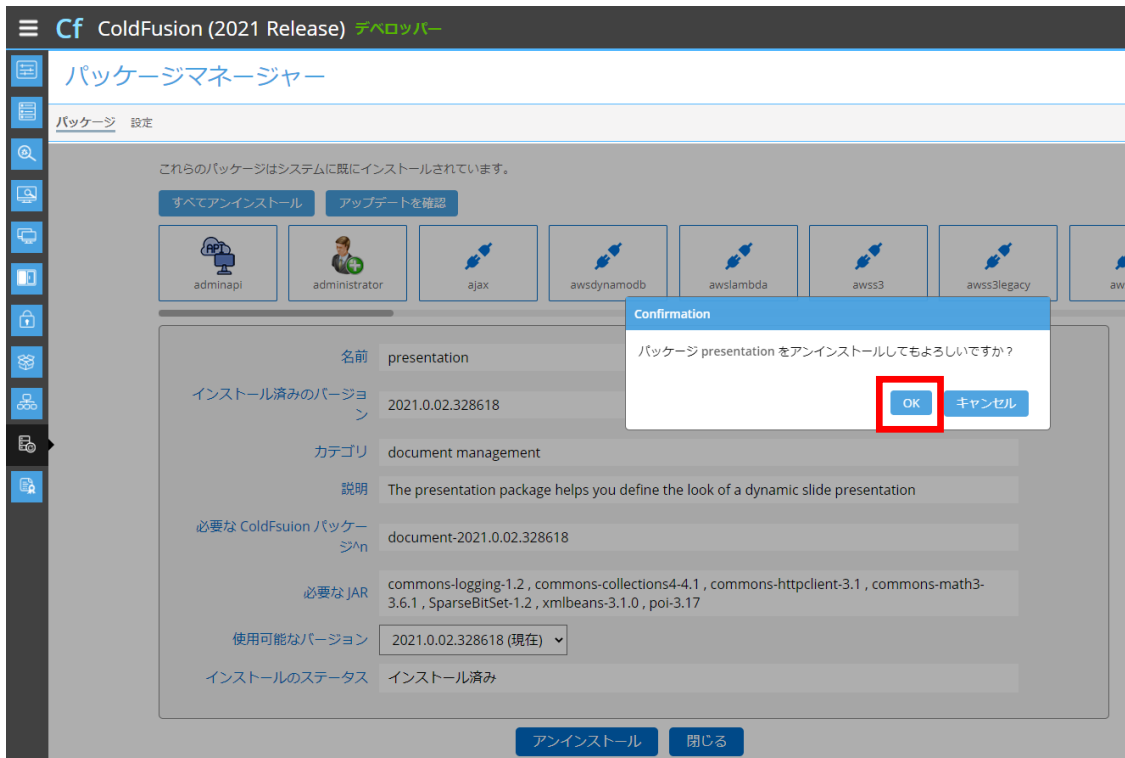
「パッケージマネージャー」画面を表示し、「パッケージ」から「インストール済みのパッケージを開きます。
「presentation」パッケージがインストールされている場合、クリックします。



「アンインストール」ボタンをクリックします。



「OK」をクリックします。



The screenshot shows the ColdFusion (2021 Release) Developer interface. The main window is titled 'パッケージマネージャー' (Package Manager). A confirmation dialog is open, asking 'パッケージ presentation をアンインストールしてもよろしいですか?' (Do you want to uninstall the package presentation?). The 'OK' button is highlighted with a red box.

Package Manager Details:

名前	インストール済みのバージョン	カテゴリ	説明	必要な ColdFusion パッケージ	必要な JAR	使用可能なバージョン	インストールのステータス
presentation	2021.0.02.328618	document management	The presentation package helps you define the look of a dynamic slide presentation	document-2021.0.02.328618	commons-logging-1.2, commons-collections4-4.1, commons-httpclient-3.1, commons-math3-3.6.1, SparseBitSet-1.2, xmlbeans-3.1.0, poi-3.17	2021.0.02.328618 (現在)	インストール済み

5.8. カスタムタグの移行確認

「拡張機能」画面を表示し、「カスタムタグのパス」をクリックします。

現在のカスタムタグのパスにコラボフローのパスが表示されているか確認します。



拡張機能

Java アプレット CFX タグ **カスタムタグのパス**

カスタムタグによって、ColdFusion Markup Language (CFML) の機能が拡張されます。デフォルトのカスタムタグのパスは、インストールでカスタムタグに他のパスを指定することもできます。

新規カスタムタグのパスの登録

新規パス サーバーのブラウズ

パスの追加

現在のカスタムタグのパス

アクション	パス
 	C:\ColdFusion2021\cfusion\CustomTags
 	D:\Collaboflow\customtags

現在のカスタムタグのパスにコラボフローのパスが表示されていない場合、

新規パスに「[コラボフローインストールフォルダ]¥customtags」を入力し、パスの追加をクリックします。



新規カスタムタグのパスの登録

新規パス サーバーのブラウズ

パスの追加

現在のカスタムタグのパス

アクション	パス
 	C:\ColdFusion2021\cfusion\CustomTags

6. ColdFusion 脆弱性対策の確認

脆弱性対策として、ColdFusion のアップデート以外に ColdFusion 用の Java を変更するなどの対応が必要になる場合があります。

脆弱性対策については、コラボフローサポートサイトで情報を公開していますので、ColdFusion のアップデート適用前にご確認ください。

<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/sections/360000053795>

7. ColdFusion 2021 のアップデート

ColdFusion のアップデート適用前にコラボフローサポートサイトを参照し、適用するアップデートをご検討ください。

<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/360001286355>

ColdFusion のインストールを行った環境がオンラインであれば、ColdFusion 管理画面よりアップデートを実行することができます。

※オフライン環境でアップデートをおこなう場合は、「[ColdFusion のアップデート\(オフライン\)](#)」を参照してください。

7.1. パッケージマネージャー画面の表示

ColdFusion 管理画面のヘッダー部分に表示された以下のアイコンをクリックすると、サーバー更新画面に遷移します。



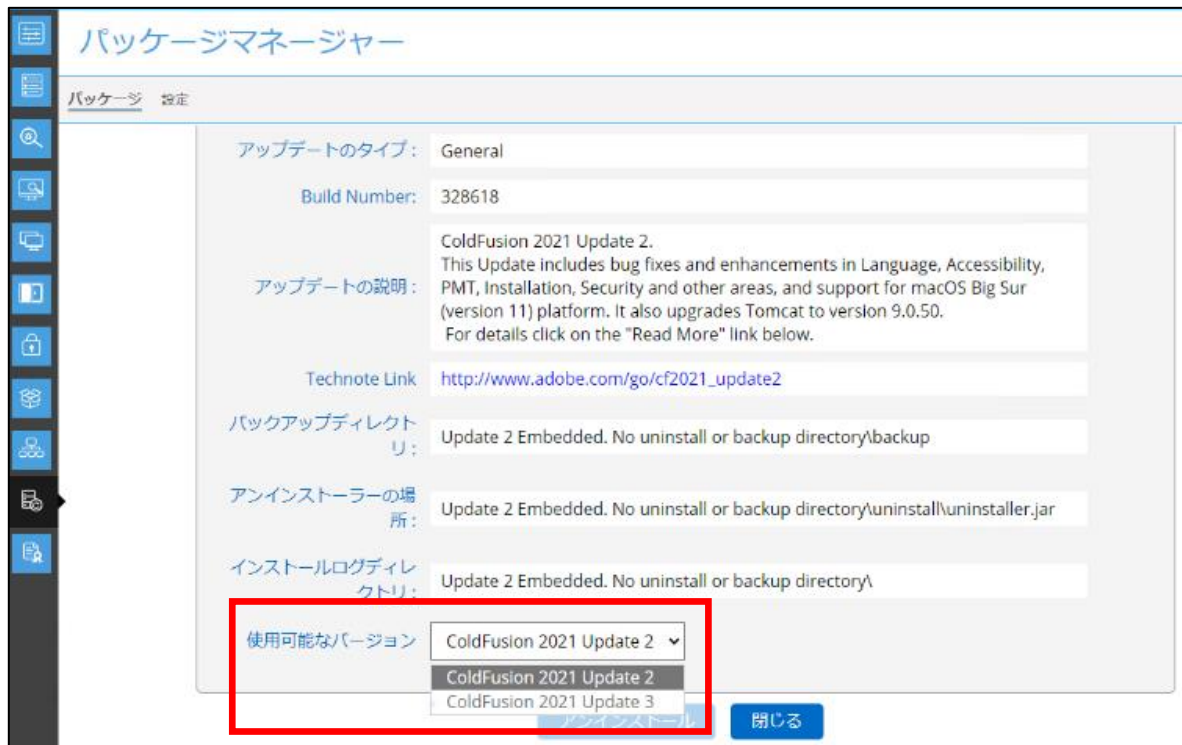
※ColdFusion 管理画面の左側に表示された「パッケージマネージャー」メニューを選択しても、同様の画面に遷移します。

パッケージマネージャー画面が表示されます。

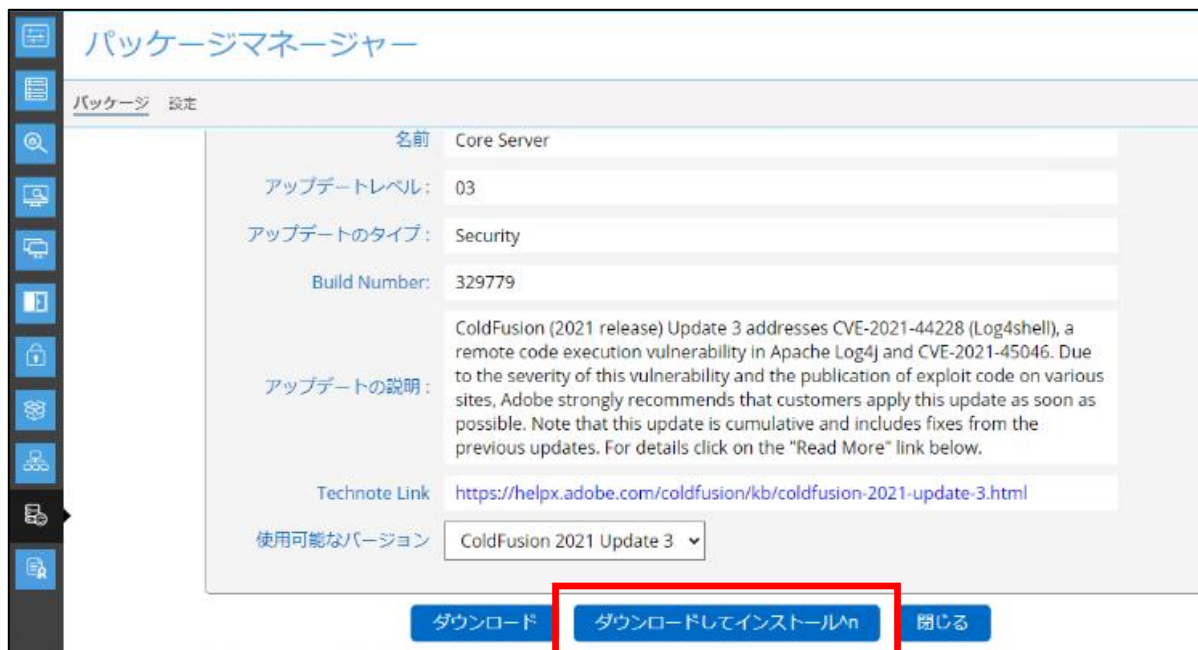


7.2. ColdFusion のアップデート

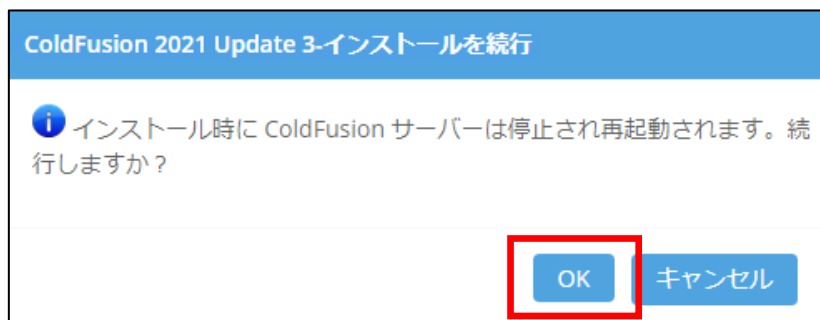
「使用可能なバージョン」からアップデート対象のバージョンを選択します。



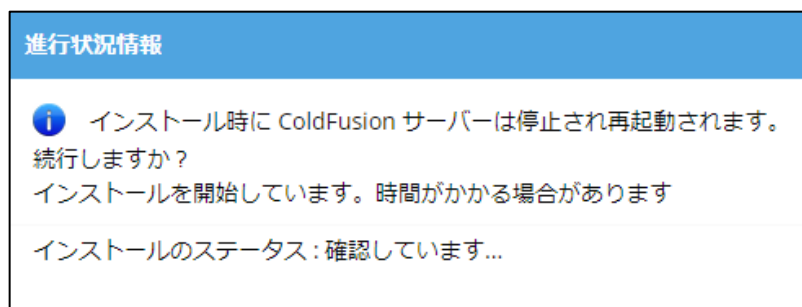
「ダウンロードしてインストール」のボタンをクリックし、ColdFusion のアップデートを行います。



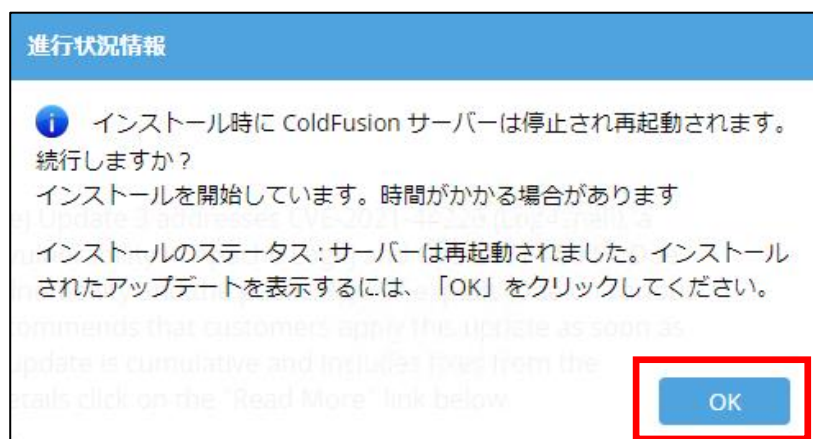
インストールの続行確認が表示されるので「OK」ボタンをクリックします。



ダウンロードが完了すると、インストールの進行状況が表示されます。



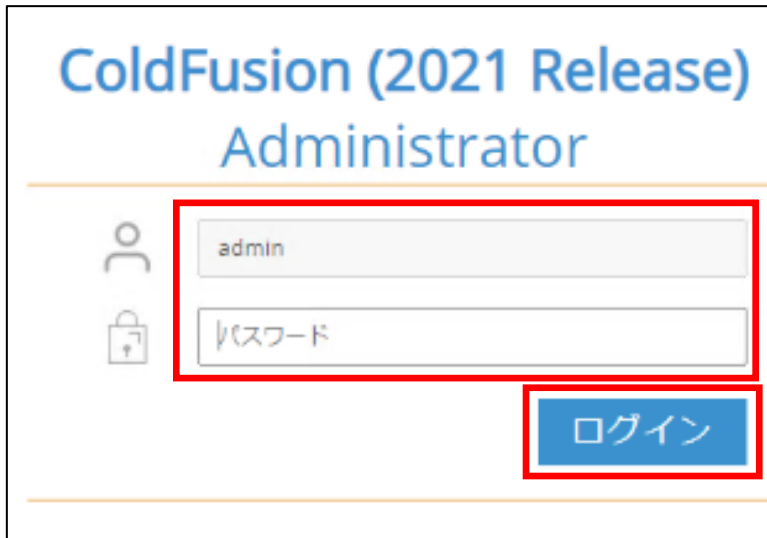
インストールが完了すると、再起動の確認画面が表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。



7.3. ColdFusion のアップデートの完了確認

ログイン画面が表示されます。

ColdFusion インストール時に指定した「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。



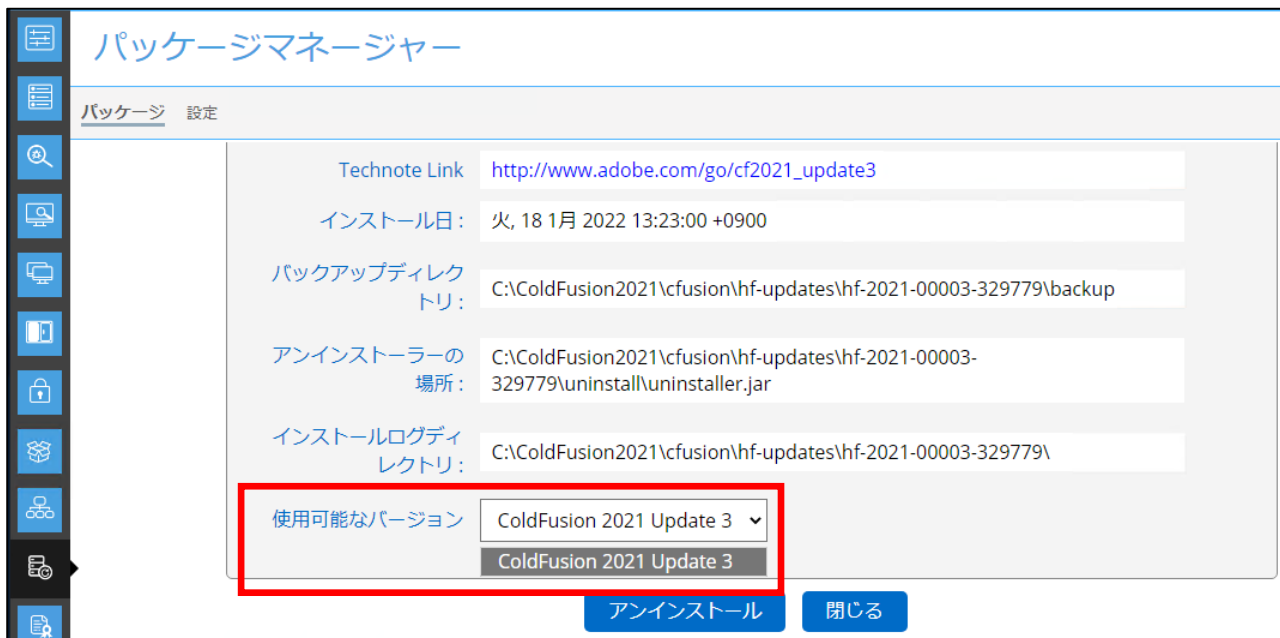
ColdFusion (2021 Release)
Administrator

admin

パスワード

ログイン

「パッケージマネージャー」画面を表示し、「コアサーバー」の「使用可能なバージョン」を確認し、他に利用可能なバージョンがないことを確認します。



パッケージマネージャー

パッケージ 設定

Technote Link http://www.adobe.com/go/cf2021_update3

インストール日: 火, 18 1月 2022 13:23:00 +0900

バックアップディレクトリ: C:\ColdFusion2021\cfusion\hf-updates\hf-2021-00003-329779\backup

アンインストーラーの場所: C:\ColdFusion2021\cfusion\hf-updates\hf-2021-00003-329779\uninstall\uninstaller.jar

インストールログディレクトリ: C:\ColdFusion2021\cfusion\hf-updates\hf-2021-00003-329779\

使用可能なバージョン: ColdFusion 2021 Update 3

アンインストール 閉じる

8. ColdFusion 2021 のアップデート(オフライン)

※オンラインでアップデートをおこなった場合は、本章をスキップしてください。

オフラインでアップデートを適用するには、別途インターネット接続が可能な PC にてアップデートファイルのダウンロードが必要です。

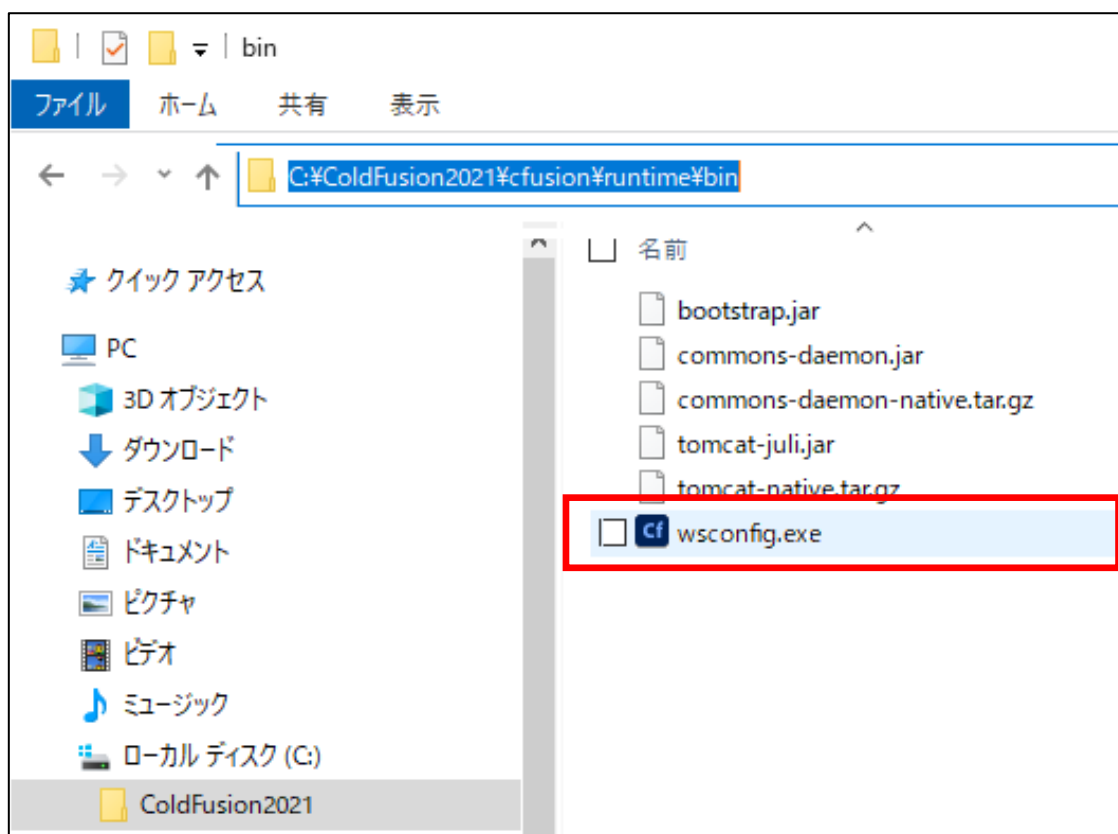
オフラインでのアップデート手順は、サムライズ社が提供している以下の FAQ 記事を参考にして実施ください。
<https://cfassociates.samuraiz.co.jp/index.cfm/faq/coldfusion2021/cf2021-offline-update/>

9. ColdFusion と Web サーバーの接続設定

9.1. Web サーバー設定ツールの起動

ColdFusion で使用する Web サーバー (IIS) の接続設定を行います。

「{ColdFusion インストールルート}\¥ColdFusion2021¥cfusion¥runtime¥bin¥wsconfig.exe」をダブルクリックして、設定ツールを起動します。

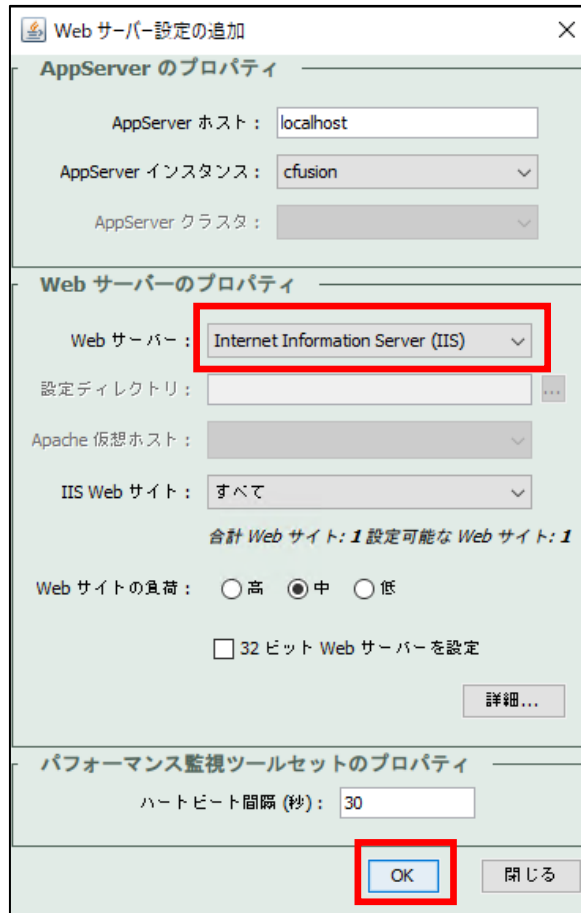


設定ツールの画面表示後、「追加」ボタンをクリックします。



9.2. Web サーバー設定の追加

Web サーバーに「Internet Information Services (IIS)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

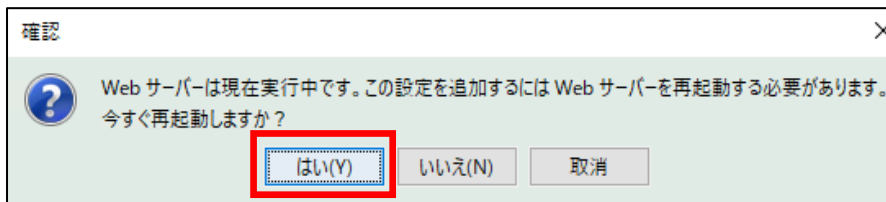


The screenshot shows a dialog box titled "Web サーバー設定の追加". It has three main sections:

- AppServer のプロパティ**: AppServer ホスト: localhost, AppServer インスタンス: cfusion, AppServer クラス: (empty).
- Web サーバーのプロパティ**: Web サーバー: Internet Information Server (IIS) (highlighted with a red box), 設定ディレクトリ: (empty), Apache 仮想ホスト: (empty), IIS Web サイト: すべて. Below this, it says "合計 Web サイト: 1 設定可能な Web サイト: 1". There are radio buttons for "Web サイトの負荷": 高, 中 (selected), 低. A checkbox "32 ビット Web サーバーを設定" is unchecked. A "詳細..." button is at the bottom right of this section.
- パフォーマンス監視ツールセットのプロパティ**: ハートビート間隔 (秒): 30.

At the bottom right, there are two buttons: "OK" (highlighted with a red box) and "閉じる".

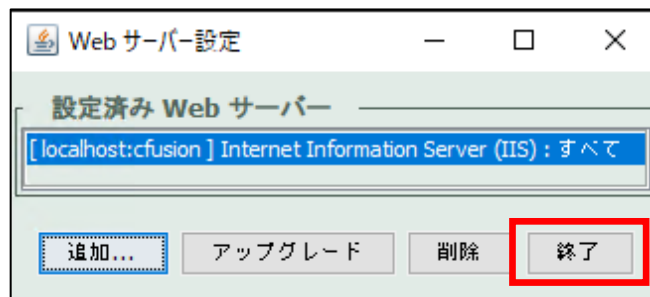
Web サーバー (IIS) を再起動する確認ダイアログが表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。



The screenshot shows a confirmation dialog box titled "確認". It contains a question mark icon and the following text: "Web サーバーは現在実行中です。この設定を追加するには Web サーバーを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？". At the bottom, there are three buttons: "はい(Y)" (highlighted with a red box), "いいえ(N)", and "取消".

9.3. Web サーバー設定の終了

設定ツールの「設定済みの Web サーバー」一覧に「Internet Information Services (IIS)」が追加されたら、「終了」ボタンをクリックして画面を閉じます。



9.4. コラボフローへのアクセス確認

ブラウザを起動し、コラボフローにアクセスします。
コラボフローのログイン画面が表示される事を確認します。

コラボフローのログイン画面が表示されない場合、トラブルシューティング「ColdFusion 2021 インストール後からコラボフローが表示されない」を参照ください。

10. ライセンスのアクティベーション

※プロキシ環境、または、オフライン環境で ColdFusion のインストールをおこなった場合のみに実施する手順です。
上記以外で ColdFusion のインストールをおこなった場合は、本章をスキップしてください。

本章を実施するには、オンライン環境である必要があります。

オフライン環境でライセンスのアクティベーションをおこなう場合は、
「[ライセンスのアクティベーション\(オフライン\)](#)」を参照してください。

10.1. シリアル番号入力

「ライセンスとアクティベーション」画面を表示し、「アクティベーション」をクリックします。
「ライセンスキー」に、ColdFusion 2021 のシリアル番号を入力し、「アクティベート」ボタンをクリックします。

① サーバーが正常にアクティブ化されました。必ずインスタンスを再起動してアクティベートしてください。

ライセンスとアクティベーションページでは、所有している ColdFusion ライセンスを管理し、インスタンスの使用状況を追跡できます。

サーバーエディション : スタンダード アクティベーションステータス : アクティブ化済み [ライセンス認証を解除](#)

デバイス ID : [REDACTED] デプロイメントタイプ : Production

ライセンスキー

入力するシリアル番号に応じて、さまざまな機能のオン／オフが切り替わります。

新しいシリアル番号 - - - - -

[アクティベート](#) [クリア](#)

ColdFusion 再起動

アクティベートが終了すると「サーバーが正常にアクティブ化されました。必ずインスタンスを再起動してアクティベートしてください。」と表示されます。
表示に従い、ColdFusion 2021 を再起動します。

10.2. アクティベーション内容の確認

再起動後、再び ColdFusion Administrator にログインし、
「ライセンスとアクティベーション」>「アクティベーション」を開きます。

「サーバーエディション」が購入された ColdFusion のエディションと一致している事と、
「アクティベーションステータス」がアクティブ化済みとなっていることを確認してください。

11. ライセンスのアクティベーション(オフライン)

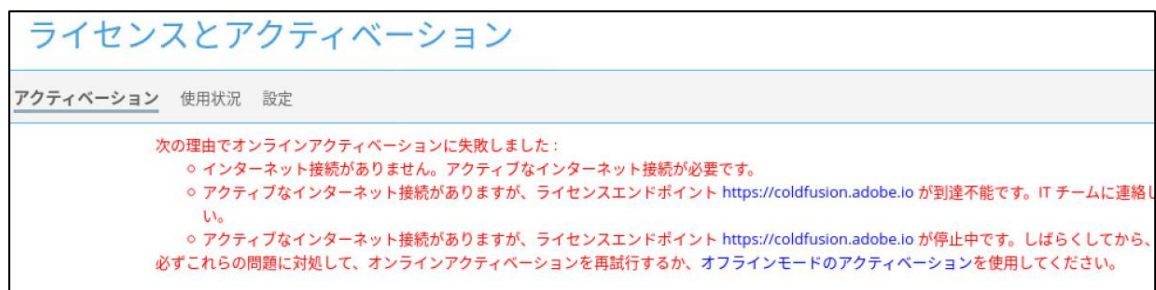
※オンラインでアクティベーションをおこなった場合は、本章をスキップしてください。

11.1. シリアル番号入力

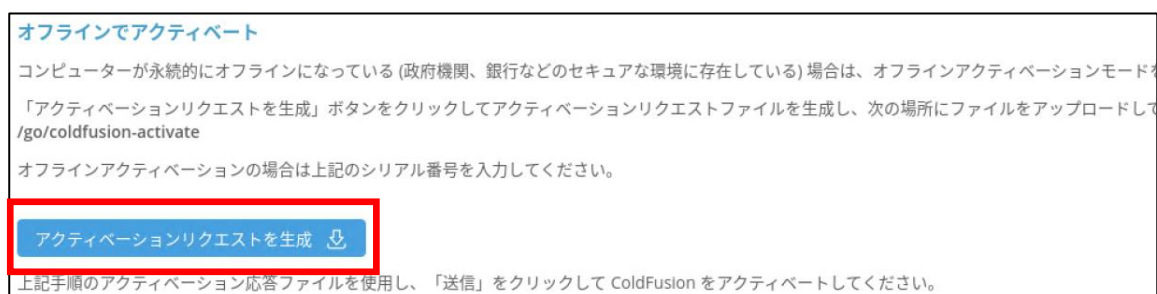
「ライセンスとアクティベーション」画面を表示し、「アクティベーション」をクリックします。
「ライセンスキー」に、ColdFusion 2021 のシリアル番号を入力し、「アクティベート」ボタンをクリックします。
※オフライン環境のため、応答が返ってくるまで、数分程度待つ必要がある場合があります。

11.2. アクティベーションリクエスト作成

しばらく待つと、画面上に、アクティベーションが失敗したメッセージが表示され
オフラインアクティベーション用の設定が表示されます。



「オフラインでアクティベート」の「アクティベーションリクエストを生成」ボタンをクリックし、
オフラインアクティベーション用のファイルを生成してください。



応答コードをダウンロード

「アクティベーションリクエストファイルが以下の場所に生成されました」
というメッセージとともに、「[cf_root]¥cfusion¥bin¥.config」フォルダ内に、JSON ファイルが生成されます。
その JSON ファイルを、USB メディア等にコピーします。

別途インターネット接続が可能な PC に、JSON ファイルを配置して、ブラウザを開き、
以下の URL にアクセスします。


<https://www.adobe.com/go/coldfusion-activate.jp>

Adobe ID によるログインが表示されましたら Adobe ID を入力してログインしてください。

「ライセンスリクエストファイル」の「ファイルを選択」ボタンをクリックして、JSON ファイルをアップロードします。

ライセンスリクエストファイル

ColdFusion Administrator のライセンスとアクティベーションページで、アクティベーション応答ファイルを指定してください。


 ファイルを選択

ファイルが選択されていません

「ライセンス応答コード」の「応答コードを生成してダウンロード」ボタンが有効化されますので、ボタンをクリックしてください。

ライセンス応答コード

応答コードをダウンロードするには、「応答コードを生成してダウンロード」をクリックしてください。

 応答コードを生成してダウンロード

11.3. オフラインアクティベーション実行

※前手順から 72 時間以内に作業をおこなってください。

ダウンロードした応答ファイルを、ColdFusion サーバーにコピーします。

ColdFusion Administrator から「ライセンスとアクティベーション > アクティベーション」の「アクティベーション応答」にある「アップロード」ボタンをクリックします。

アクティベーション応答:

 アップロード

 送信

注意 - アクティベーションプロセスを 72 時間以内に完了できない場合は、新しいアクティベーションリクエストを生成する必要があります。

応答ファイルを選択し、「送信」ボタンを押すと、オフラインアクティベーションが実行されます。

11.4. ColdFusion 再起動

アクティベートが終了すると「サーバーが正常にアクティブ化されました。必ずインスタンスを再起動してアクティベートしてください。」と表示されます。

表示に従い、ColdFusion 2021 を再起動します。

11.5. アクティベーション内容の確認

再起動後、再び ColdFusion Administrator にログインし、
「ライセンスとアクティベーション>アクティベーション」を開きます。

「サーバーエディション」が購入された ColdFusion のエディションと一致している事と、
「アクティベーションステータス」がアクティブ化済みとなっていることを確認してください。

12. ColdFusion 2018 の削除

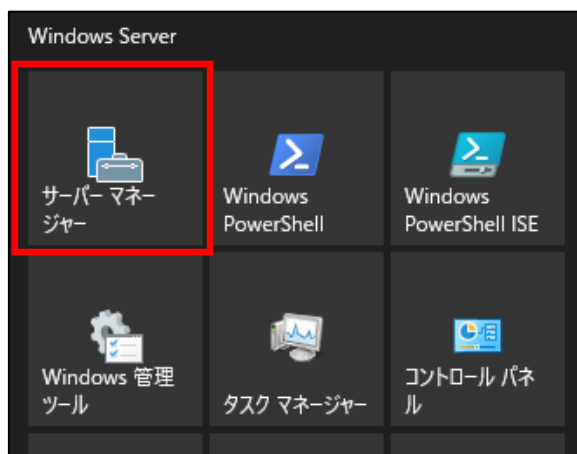
コラボフローへのアクセスを確認後、ColdFusion2018 の削除を行います。

12.1. ColdFusion 2021 サービスの停止

Windows タスクバーから、「スタート」をクリックします。



サーバーマネージャーをクリックします。



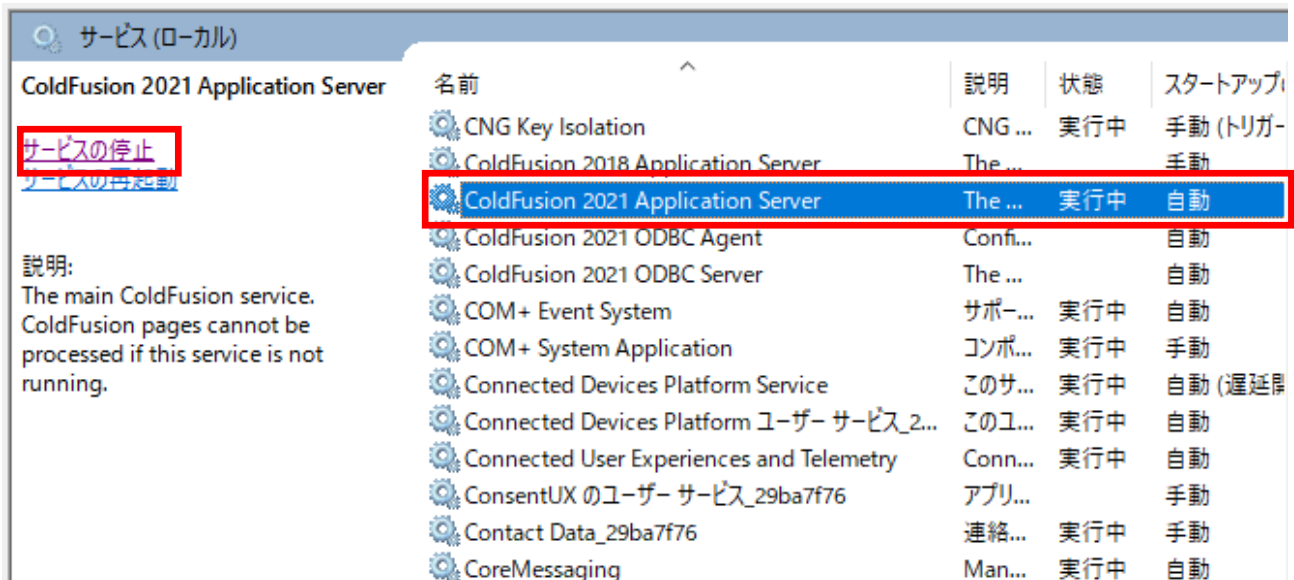
サーバーマネージャーのツールをクリックし、メニューから「サービス」をクリックします。



サービスの一覧が表示されます。

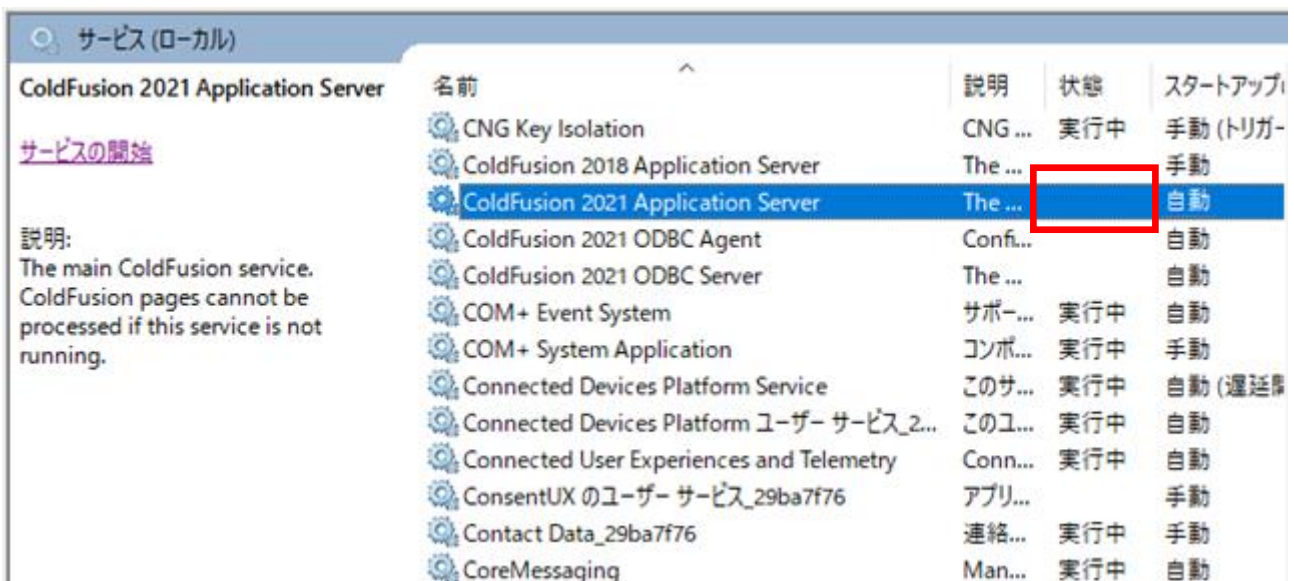
サービスの一覧から「ColdFusion 2021 Application Server」を選択します。

「サービスの停止」をクリックします。



「ColdFusion 2021 Application Server」サービスが停止されます。

「状態」が空欄となっており、停止状態であることを確認します。



12.2. ColdFusion 2018 一時フォルダの削除

C:\ColdFusion2018\cfusion\runtime\work\Catalina フォルダを削除します。

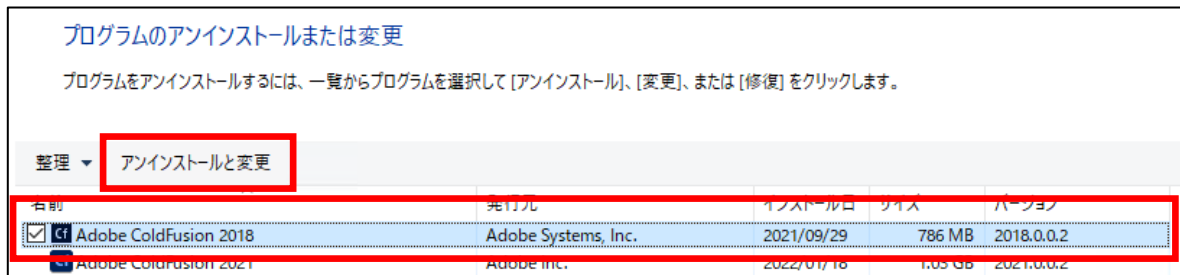
※ご利用状況によりファイル数やサイズが多く、削除に時間が掛かる場合があります。

12.3. プログラムのアンインストール

コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」を選択します。

※「プログラム > プログラムと機能」からも開けます。

「Adobe ColdFusion 2018」を選択し、「アンインストールと変更」をクリックします。



補足： アンインストールと変更をクリックしても反応が無いように見える時は…

お使いのサーバー環境によっては、次の手順以降にあるようなアンインストールの確認や処理中の画面が表示されずに、画面非表示の状態ですぐにアンインストールが開始される場合があります。

(例：ColdFusion 2018 をインストールした際にサイレントインストールをしていた等が該当します。)

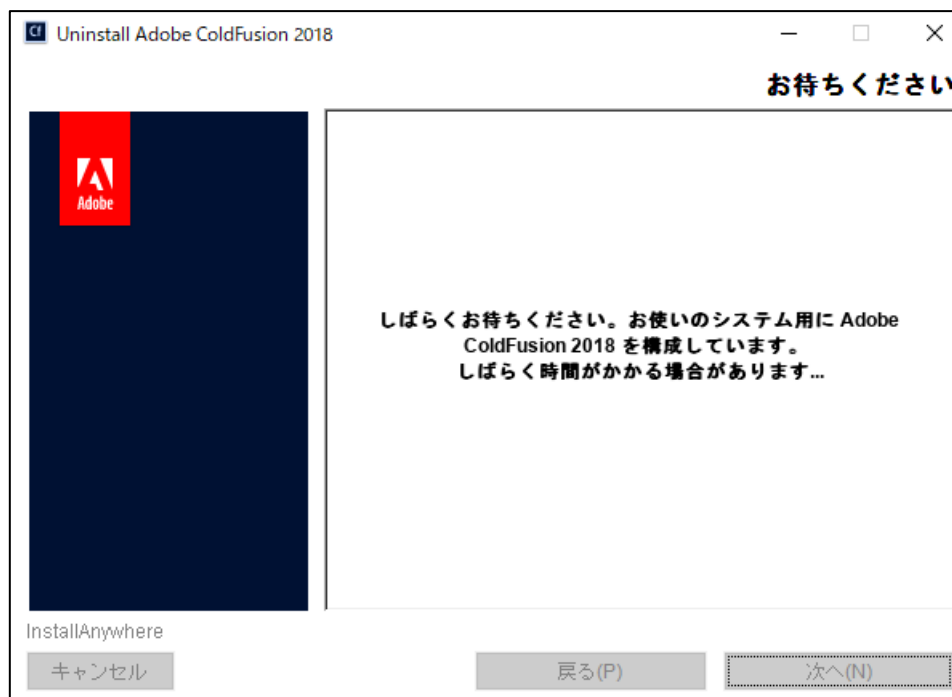
しばらく時間(10 分程)をおいてから再度「プログラムと機能」を開きなおい、「アンインストール完了の確認」の手順にお進みください。

12.4. ColdFusion 2018 のアンインストール

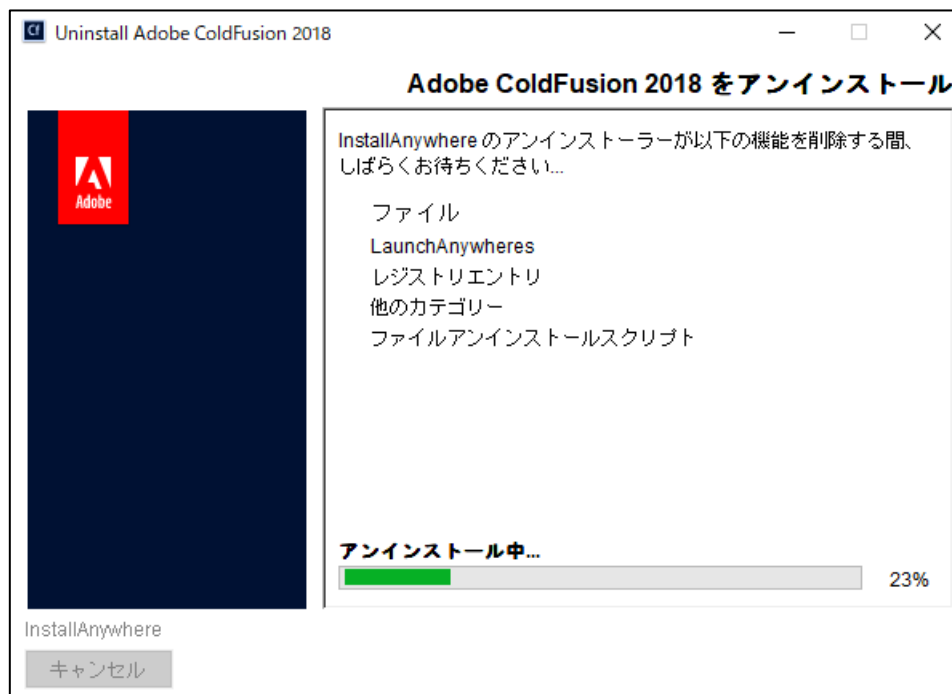
「アンインストール」ボタンをクリックします。



アンインストールの処理が開始されます。



機能の削除処理が実行されます。



アンインストール後、「完了」ボタンをクリックします。



12.5. アンインストール完了の確認

再度コントロールパネルを開き、プログラムと機能の一覧から「Adobe ColdFusion 2018」の項目が消えていることを確認します。

プログラムのアンインストールまたは変更

プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して [アンインストール]、[変更]、または [修復] をクリックします。

名前	発行元	インストール日	サイズ	バージョン
Adobe ColdFusion 2021	Adobe Inc.	2022/01/18	1.03 GB	2021.0.0.2
Microsoft Edge	Microsoft Corporation	2022/01/18		97.0.1072.62
Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable (x64) - ...	Microsoft Corporation	2021/09/29	20.5 MB	11.0.61030.0
Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable (x86) - ...	Microsoft Corporation	2021/09/29	17.3 MB	11.0.61030.0
Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x...	Microsoft Corporation	2021/09/16	22.1 MB	14.28.29913.0
Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (x86) - ...	Microsoft Corporation	2022/01/18	20.4 MB	14.14.26405.0

12.6. ColdFusion 2018 フォルダの削除

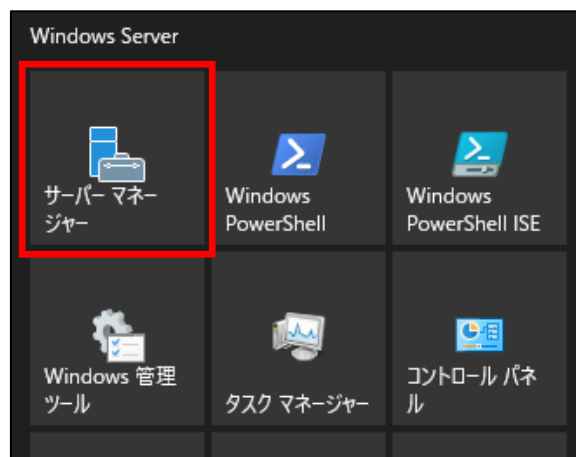
C:\ColdFusion2018 フォルダを削除します。

12.7. ColdFusion 2021 サービスの起動

Windows タスクバーから、「スタート」をクリックします。



サーバーマネージャーをクリックします。

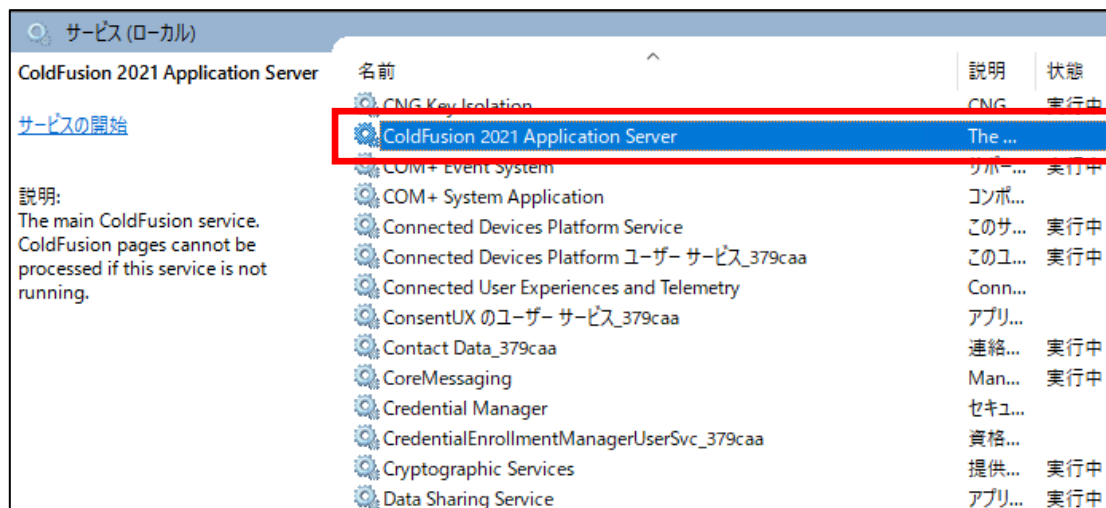


サーバーマネージャーのツールをクリックし、メニューから「サービス」をクリックします。



サービスの一覧が表示されます。

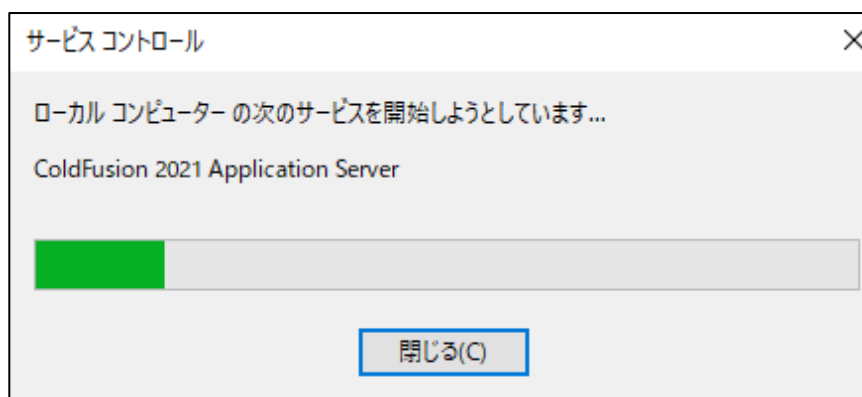
サービスの一覧から「ColdFusion 2021 Application Server」を選択します。



「サービスの開始」をクリックします。

サービスが起動されます。

開始後に、サービスの状態が「実行中」となるかを確認します。



12.8. コラボフローへのアクセス確認

ブラウザーを起動し、コラボフローにアクセスします。

コラボフローのログイン画面が表示される事を確認します。

13. トラブルシューティング

13.1. プロキシサーバーを経由する必要がある場合

コラボフロー サポートサイトの下記記事を参照ください。

Web プロキシサーバーがある環境下で ColdFusion2021 の更新を行う方法
<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/4425695407759>

13.2. ColdFusion 2021 インストール後からコラボフローが表示されない

サービスの起動が競合している場合があります。サービスの一覧で以下を確認してください。

- ・「ColdFusion 2021」から始まるサービスが起動していること。
- ・「ColdFusion 2018」から始まるサービスが停止していること。

改訂履歴

初版 … 2022 年 2 月

第2版 … 2023 年 12 月